テルモロッシ
Mon Amour（モナムール）取扱説明書

目次：

１．はじめに
　１．１　　注意
　１．２　　安全のために
　１．３　　標準、推奨事項
　１．４　　一般的な注意事項
　１．５　　輸送と保管
２．仕様
３．基本的な説明
　３．１　　装置の概要
　３．２　　ペレット（燃料）について
　３．３　　ペレットタンクについて
４．設置について
　４．１　　ストーブの設置場所
　４．２　　ケースの取付け
５．操作について
　５．１　　コントロールパネルについて
　５．２　　背面パネルの説明
　５．３　　曜日時間の設定
　５．４　　タイマー運転のプログラム
　５．５　　排気ファンレベルの設定
　５．６　　サーモコンフォートリモコンとの通信
６．サーモコンフォートリモコンについて
　６．１　　サーモコンフォートリモコンの各名称
　６．２　　サーモコンフォートリモコンの使い方
　６．３　　送信コード
　６．４　　サーモコンフォートリモコンのメンテナンス
７．ストーブの操作方法
　７．１　　運転モードの説明
　７．２　　ストーブの着火
　７．３　　火力レベル、温風レベルの調整
　７．４　　赤外線リモコン

８．室温サーモスタットとタイマー機能付きサーモスタット（オプション）
９．クリーニングとメンテナンス
　９．１　　はじめに
　９．２　　クリーニングとメンテナンス
　９．３　　赤外線リモコンの電池交換
　９．４　　操作パネルの電池交換
１０．排気管と部屋の換気について
１１．アラームについて
１２．マザーボード
１３．技術情報
１４．パーツリスト

適合宣言

DICHIARAZIONE DI CONFORMITA'
DECLARATION OF CONFORMITY

La **THERMOROSSI S.P.A., VIA GRUMOLO N° 4 36011 ARSIERO (VI)**, sotto la sua esclusiva responsabilità
DICHIARA che l'apparecchiatura descritta in appresso:
DECLARES that the product:

Descrizione *Description*	Stufa a pellet *Pellet stove*
Marchio *Trademark*	**THERMOROSSI S.P.A.**
Modello *Model*	**MON AMOUR**

è conforme alle disposizioni legislative che traspongono le seguenti Direttive:
- **2004/108/CE (Direttiva EMC)**
- **2006/95/CE (Direttiva Bassa Tensione)**
- **2011/65/EU (Direttiva RoHS 2)**

is in accordance with the following Directives:
- ***2004/108/EC Directive (EMC Directive)***
- ***2006/95/EC Directive (Low Voltage Directive)***
- ***2011/65/EU Directive (RoHS 2)***

e che sono state applicate tutte le norme e/o specifiche tecniche di seguito indicate
and that all the following standards have been applied

EN 55014-1	EN 60335-1	EN 50581
EN 55014-2	EN 60335-2-102	
EN 61000-3-2	EN 62233	
EN 6100-3-3		

Ultime due cifre dell'anno in cui è affissa la marcatura CE 14
Last two figures of the year of the CE marking

Luogo **Arsiero**
Place

Data **24/06/2014**
Date

Firma
Sign.

DICHIARAZIONE DI PRESTAZIONE
DECLARATION OF PERFORMANCE

Dichiarazione di prestazione in accordo con il Regolamento (UE) 305/2011
Declaration of performance according to Regulation (EU) 305/2011

N° 56

1 Codice di identificazione unico del prodotto-tipo:
Unique identification code of the product type:
MON AMOUR, apparecchio per il riscaldamento domestico, senza acqua, alimentato a pellet di legno
***MON AMOUR**, residential space heating appliance without water fired by wood pellets*
EN 14785:2006

2 Numero di tipo, lotto , serie o qualsiasi altro elemento che consenta l'identificazione del prodotto da costruzione ai sensi dell'articolo 11, paragrafo 4:
Type, batch or serial number or any other element allowing identification of the construction product as required under Article 11(4):
MON AMOUR

3 Uso o usi previsti del prodotto da costruzione, conformemente alla relativa specifica tecnica armonizzata, come previsto dal fabbricante:
Intended use or uses of the construction product, in accordance with the applicable harmonised technical specification, as foreseen by the manufacturer:
Apparecchio per il riscaldamento domestico, senza acqua, alimentato a pellet di legno
Residential space heating appliance without water fired by wood pellets

4 Nome, denominazione commerciale registrata o marchio registrato e indirizzo del fabbricante ai sensi dell'articolo 11, paragrafo 5:
Name, registered trade name or registered trade mark and contact address of the manufacturer as required pursuant Article 11(5):
THERMOROSSI S.P.A. Via Grumolo, n° 4 36011 Arsiero (VI)

5 Sistema o sistemi di valutazione e verifica della costanza della prestazione del prodotto da costruzione di cui all'allegato V:
System or systems of assessment and verification of constancy of performance of the construction product as set out in Annex V:
Sistema 3 e 4 / *System 3 and 4*

THERMOROSSI S.p.A.
Un Amministratore

Nel caso di una dichiarazione di prestazione relativa ad un prodotto da costruzione che rientra nell'ambito di applicazione di una norma armonizzata:
In case of the declaration of performance concerning a construction product covered by a harmonised standard:

6 L' organismo notificato **TÜV Rheinland Energie und Umwelt GmbH N° 2456** ha determinato il prodotto-tipo in base a prove di tipo secondo il sistema 3 ed ha rilasciato il rapporto di prova **K13532014Z1**
*The notified laboratory **TÜV Rheinland Energie und Umwelt GmbH N° 2456** performed the determination of the product type on the basis of type testing under system 3 and issued test report* **K13532014Z1**

Prestazione dichiarata / *Declared performance*

Specifica tecnica armonizzata: *Harmonized technical specification:*	EN 14785:2006
Caratteristiche Essenziali *Essential characteristics*	**Prestazione / *Performance***
Sicurezza antincendio / Fire safety	
Reazione al fuoco / *Reaction to fire*	A1
Distanza da materiali combustibili *Distance to combustible materials*	Minime distanze / *Minimum distances* (mm): posteriore / *rear* = 200 lati / *sides* = 200 frontale / *front* = 800 soffitto / *ceiling* = - pavimento / *floor* = -
Rischio di fuoriuscita di braci incandescenti *Risk of burning fuel falling out*	Passa / *Pass*
7 **Emissione di prodotti della combustione** *Emission of combustion products*	CO 106,8 mg/m3 Alla potenza termica nominale / *Nominal heat output* CO 553,2 mg/m3 Alla potenza termica ridotta / *Reduced heat output*
Temperatura superficiale / *Surface temperature*	Passa / *Pass*
Sicurezza elettrica / *Electrical safety*	Passa / *Pass*
Pulizia / *Cleanability*	Passa / *Pass*
Pressione massima di esercizio *Maximum operating pressure*	-- bar
Temperatura fumi a potenza termica nominale *Flue gas temperature at nominal heat output*	T 178 °C
Resistenza meccanica (per sopportare un camino/una canna fumaria) *Mechanical resistance(to carry a chimney/flue)*	NPD {No Performance Determined}
Potenza termica nominale / *Nominal heat output* Potenza termica resa in ambiente / *Room heating output* Potenza termica ceduta all'acqua / *Water heating output*	6,74 kW 6,74 kW - - kW
Rendimento *Efficiency*	87,63 % Alla potenza termica nominale / *Nominal heat output* 89,50 % Alla potenza termica ridotta / *Reduced heat output*

8 La prestazione del prodotto di cui ai punti 1 e 2 è conforme alla prestazione dichiarata di cui al punto 7. Si rilascia la presente dichiarazione di prestazione sotto la responsabilità esclusiva del fabbricante di cui al punto 4
The performance of the product identified in points 1 and 2 is in conformity with the declared performance in point 7. This declaration of performance is issued under the sole responsibility of the manufacturer identified in point 4

THERMOROSSI S.p.A.

Firmato a nome e per conto del fabbricante da
Signed for and on behalf of the manufacturer

(nome e funzione)
(name and title)

Luogo/Place
Arsiero

Data/Date
24/06/2014

１．はじめに

１．１　ご注意

この説明書は、設置、操作、メンテナンスに必要ですので、お客様が必ず保管して下さい。
設置、操作、メンテナスの前に本書をよく読んで下さい。本書に書かれているメンテナンスは必ず実施して下さい。日本国内、地方自治体、ヨーロッパ規格に照らし合わせてご使用下さい。この取扱説明書に記載されているメンテナンス事項は全て行う事をお勧めいたします。
この製品は、本書に記載されている使用方法にしたがって使用してください。それ以外の使い方や、誤った使い方をすると危険です。その際生じた事故や故障は、すべてお客様の責任となります。
この製品の設置、メンテナンスおよび修理は、専門の技術を持った業者の手で、規格に沿った説明書に従ってとりおこなってください。部品交換が必要な際は、必ず正規の部品を使用してください。誤った設置の仕方や、ずさんなメンテナンスによるけがや器物破損が生じた場合、メーカーはいかなる責任も負いません。
製品のクリーニングやメンテナンス作業を行う前には、必ずすべてのスイッチを「切」の状態にし、電源プラグを抜いてください。
この製品は、防火設備の整った建物に設置し、電源や排気口など必要なサービスをきちんと確保して下さい。
この製品を売却または譲渡する時は、この取扱説明書を必ず製品に附属してください。また取扱説明書が破損などした場合は新しいものを準備して常に手元において下さい。
本取扱説明書の著作権は Thermorossi S.p.A に帰属します。いかなる場合も第三者が許可なしに複製する事は禁止します。

１．２　安全のために

・　警告　 　この表示の注意事項を守らないと、死亡や大けがなどの重大な人身事故の原因となります。

・　注意　 　この表示の注意事項を守らないと、製品の破損や故障の原因となります。

・　重要事項　 　この表示は、製品を使用の際、とくに重要な事柄を示しています。

１．３　標準と推奨事項

この取扱説明書は、製品を正しく使用するために不可欠なものです。ご使用の前に、熟読される事をお勧めします。
正しい設置、使用、メンテナンスを行うために、必ずこの取扱説明書を熟読してください。電気パネルへの接続などは専門の業者にて行って下さい。設置、メンテナンス、操作が正しく行われない場合は第三者への損害も認められませんのでご注意下さい。
お客様によって行われた改造は、すべてお客様の責任となります。使用前、使用中の設置と装置の効果的な運転を維持するための保守に必要な操作は、お客様の責任において行われます。

１．４　一般的な注意事項

この製品は、かならず PE アース（2006/95/EC に適応。低電圧電気機器用）に接続してください。設置前に、アース回路が有効であることをお確かめください。電源ケーブルの容量が充分であるかをご確認ください。新築の場合アース付コンセントを設けて下さい。

注意：電源コードは断面積 1.5 平方ミリが最適です。この製品は、正しい電圧のもとで使用してください。
この製品本体は、220-240V, 50Hz.で作動します。10 パーセント以上高い電圧で使用すると、運転が正常に行われないか、もしくは破損のおそれがあります。

日本で使用する場合は 230／100Vの変圧トランスを介して使用します。コンセントは容易に接続出来るようにストーブを配置して下さい。コンセントには ON/OFF スイッチが装着されたものにして下さい。本製品は EC 規格に適合するかチェックするために約１時間出荷テスト燃焼を行っています。操作には取扱説明書の内容を熟知した人が行って下さい。お子様などの操作はお辞め下さい。

注意：着火前に燃焼皿が綺麗であること、ドアがロックされている事を確認して下さい。

注意：燃焼中は常にドアはロックされた状態でなければなりません。燃焼中はドアを開けないで下さい。また燃焼中はストーブや排気管は高温になりますので触らないで下さい。長時間ストーブ近くで体を温めないで下さい。低温火傷など健康上の問題を引き起こす場合があります。植物や動物に直接熱気（温風）を当てないで下さい。
木質ペレット以外の燃料を使用しないで下さい。燃料の供給は自動にて行います。燃焼皿へ手で燃料を入れたり他の材料を燃やさないで下さい。
ストーブの近くに可燃物や熱に弱い製品を置かないで下さい。また乾燥目的で衣類などを置かないで下さい。

ストーブを濡れた手で扱わないで下さい。燃焼灰が熱い時に掃除機で吸わないで下さい。掃除は十分に冷めた状態で行って下さい。

ストーブには必ずアースを施して下さい。アースを施さない場合の事故はストーブ本体に重大な損害を与える場合があります。

１．５　輸送と保管

製品を運搬するときの注意

ストーブ本体を移動するときは、必ず垂直状態のまま台車に乗せて動かしてください。その際衝撃を与えないように十分注意してください。セラミック、背面パネル、ガラスのドア部分は破損しやすいので、特に気をつけてください。

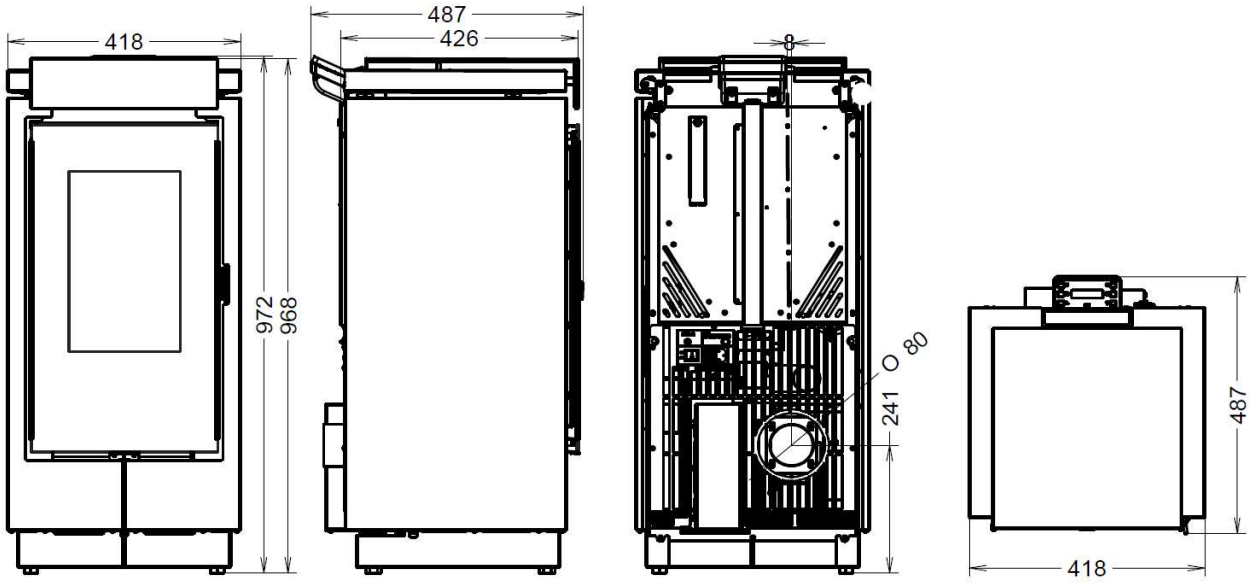
保管

ストーブ本体およびカバーは、湿気やカビのない屋内で保管してください。直射日光や風雨を避け、また、本体を直接床に置かないようにしてください。保管場所による機器への影響はいかなる場合も保証いたしません。

2．主な仕様

技術的特性		MonAmour
燃焼室出力（最小／最大）	Kw	3.15／7.69
定格出力（最小／最大）	Kw ＝Kcal／hr	2.82／6.74 （2,425／5,796）
暖房可能容積	㎥	189
定格出力時燃焼効率	%	87.63
低出力時燃焼効率	%	89.46
使用電力		230V／50Hz
消費電力　　（最小／最大）	Watt	66（0.29A）／271（1.18A）
定格排気ガス量	g/s	6
低出力時排気ガス量	g/s	4.3
定格出力時排気ガス平均温度	℃	178
低出力時排気ガス平均温度	℃	98.2
定格最少ドラフト圧力	mbar	0.1
低出力最少ドラフト圧力	mbar	0.1
排気ガス管の直径	mm	80
ペレットタンク容量	kg	15
ペレット消費量　　（最小／最大）	kg／時	0.65／1.59
燃焼持続時間＝燃料充填までの時間（最小／最大）	時間	23.3／9.1
酸素 13%の排気に含まれる一酸化炭素の測定濃度：定格時	mg/m3	106.8
酸素 13%の排気に含まれる一酸化炭素の測定濃度：低出力時	mg/m3	553.2
本体重量	kg	99
外形サイズ　　w×d×h	mm	418×487×972

※全てのデータはオーストリア標準 ÖNORM M 7135 のペレットによるものです。
※暖房可能容積は家屋の断熱、構造により大きく異なります。



3．基本的な説明

3．1　装置の概要

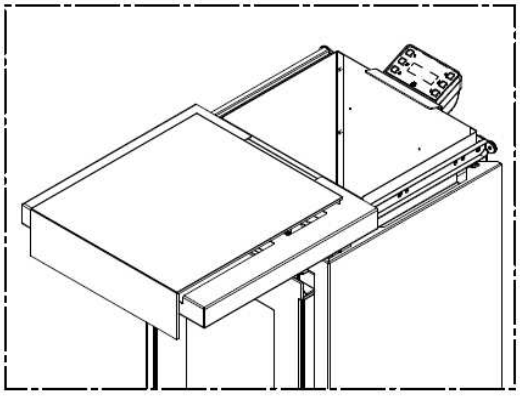
このストーブは、優れた暖房能力と使いやすさを兼ね備えた製品です。最高級のコンポーネントと性能は高性能なマイクロプロセッサーにより高い信頼性と最適な性能を導き出します。

3．2　　ペレット燃料について

ストーブの燃料である、おがくずを圧縮したペレットは、手動で供給することなくタンクから自動で供給されますので炎の熱を十分に楽しめます。
ペレットは、圧縮されたおがくずまたは木の切りくずで、直径６mm、長さは 10～20mm、水分の含有量は８％以下、熱量は 4000～4500Kcal/kg で、その密度は 620～630Kg/㎥、灰は 0.7%以下のものをご使用ください。またUNI　EN14961-1　A1、A2 に承認される品質のものをご使用下さい。日本では A1 クラスのペレットをご使用下さい。

注意：　上記に特定した燃料以外のものを使用した場合、一切保証いたしません。

3．3　ペレットタンクについて



ペレットタンクは、ストーブの上面にあります。
充填されるペレットにより重量は異なります。
またペレット供給オーガが作動中または燃焼中の時にタンクを開ける時は特に気を付けて下さい。非常に熱くなっている場合があります。またペレットは上記規格のペレットをご使用下さい。
タンクに異物を入れないで下さい。

注意：ペレットが燃焼皿に落ちてこない時、ペレットタンクには少しペレットが残っていますが、これは正常です。

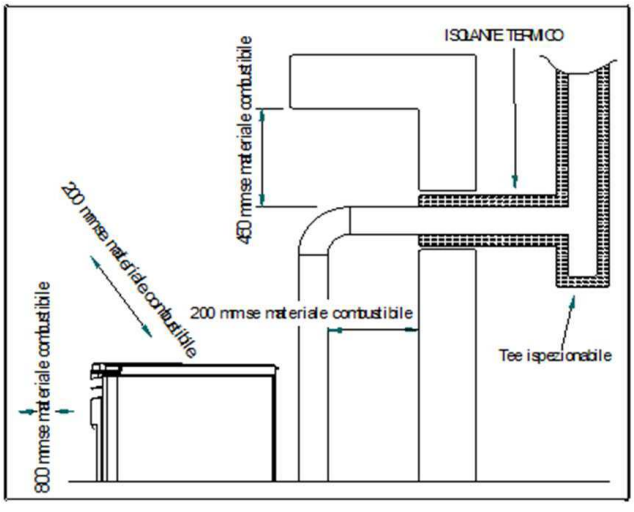
ペレットタンクはシーズン中は１ヶ月に１度、シーズン前、シーズン後はタンクを空にして掃除機でタンク内を掃除して下さい。また燃焼室やタンク内にはペレット以外の可燃物を入れないで下さい。ペレットを補給する際はストーブ内部にこぼさない様注意して下さい。ストーブの熱でこぼしたペレットに引火する場合があります。

4．設置について

4．1　ストーブの設置場所

まず、この取扱説明書の１章の「1．１　ご注意」の項をよくお読みください。設置するフロア面がストーブの重量に充分耐えられるかどうか、設置前によくご確認ください。

警告：設置する部屋には外気との換気口を必ず設けて下さい。（最低 80 ㎠以上）
壁や、周辺の家具などから充分な距離を取って設置してください。
特にカーテンや布張りソファ、木製の家具など可燃物には特に余裕を持って距離を取ってください。可燃物との距離は右図を参照。
ストーブ側面および背面は、最低限２０ｃｍ以上の隙間を確保してください。
またストーブ前面は、最低８０ｃｍ以上の間隔が必要となります。必要に応じて断熱材にて保護して下さい。但し、設置する地域の条例などによる規制がある場合は、それに従って下さい。



カーペット敷など可燃性の床、またはフローリングの床の場合は、金属製の保護シートなど不燃性の保護材を床に敷いてから設置してください。保護材は、ストーブ前面より５０ｃｍ以上、両側面より３０ｃｍ以上の大きさが必要です。（UNI10683 参照）

設置業者は設置計画と下記証明書を準備して下さい。これはヨーロッパでの標準ですが日本においても準じて下さい。

ａ：使用した資材の材質を報告して下さい。

ｂ：2008 年 1 月 22 日大臣命令ｎ° 37 の 5 項に定義される事を報告して下さい。

ｃ：先の宣言に参照して既存のものまたは一部的な適合かどうか（電気回路等）

ｄ：技術資格者（代理店証明書）である証明書のコピー。

上記報告書は取扱説明書と一緒に保管しなければなりません。ユーザーは直接または間接的に設置に対して規則に従って正しく設置されたことを確認する義務があります。

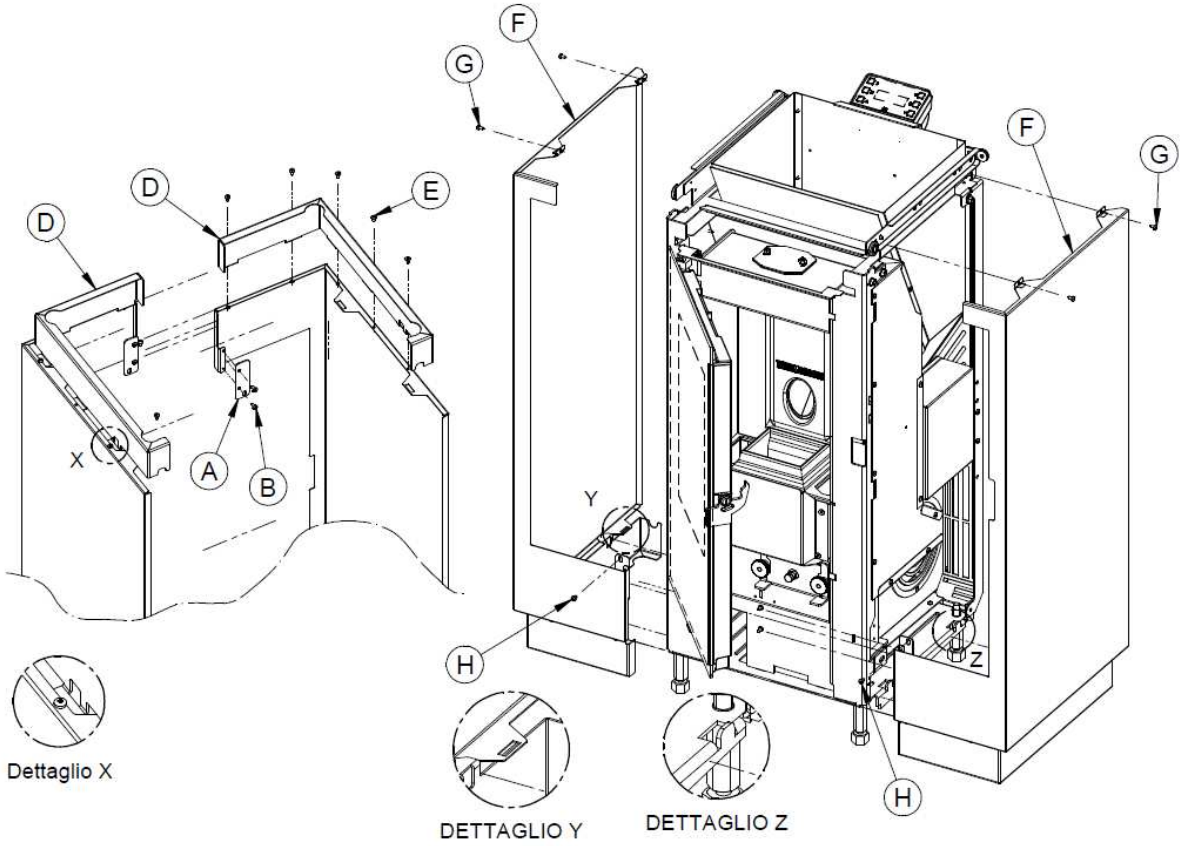
ストーブを寝室、浴室、ガレージまたは留置所へ設置しないで下さい。換気に問題がある場合重大事故につながるので設置が禁じられています。

注意：このストーブは単純な家庭用品ではありません。取扱説明書の指示に従わなかったり、正しく設置されていなかったり、メンテナンス不良の悪い状態であるとき人や建屋に重大な事故を起こします。

部屋に十分な換気口があることを確認するのはユーザーの義務です。

設置業者は設置後必ず取扱説明書に記載されている内容及び注意事項をユーザーへ十分説明して下さい。

４．２　ケース（サイドパネル）の取付け



Legenda:	Key:
Dettaglio	Detail

付属のネジBでプレートＡを図の通り取付けて下さい。ネジＥで左右のサイドパネルへキックプレートＥを取付けて下さい。サイドパネルＦの下部（Y参照）穴を本体凸部（Z参照）を入れてネジG、Hで本体へ固定して下さい。

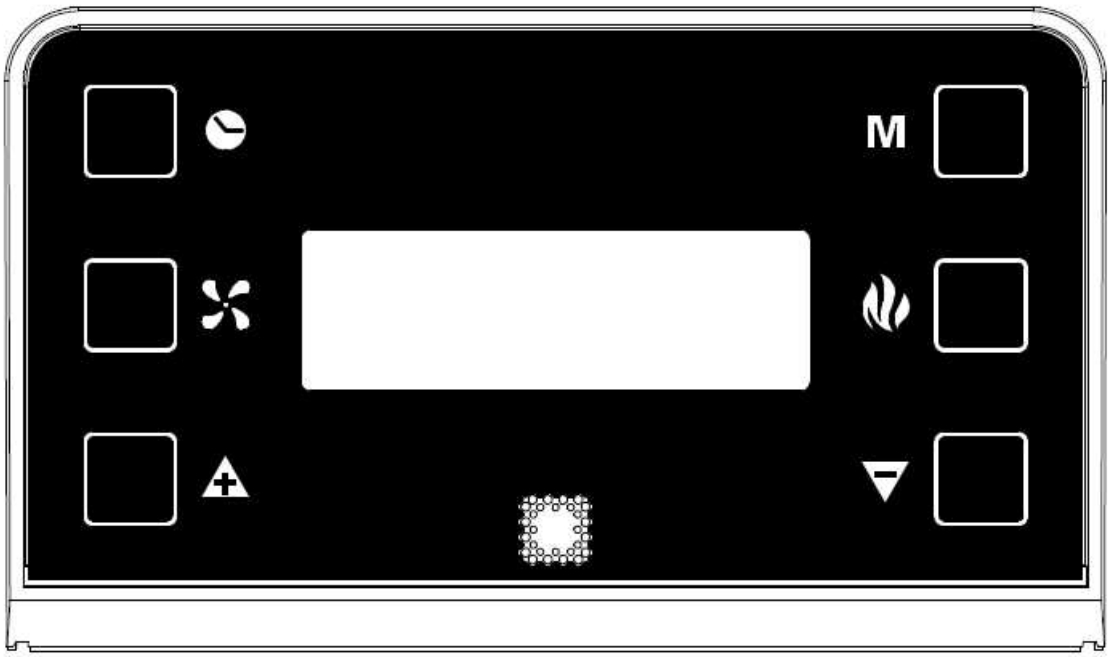
5　操作について

燃焼中、ストーブは熱くなります。特にドア周りは気を付けて下さい。燃焼中にストーブに触る際は十分に注意して下さい。
テルモロッシのストーブはCE マークを取得していますので出荷前に約１時間燃焼テストをしております。また電子部品は様々なテストを受けておりチェックシートに記録されております。装置の操作及びメンテナンスに精通（本取扱説明書記載内容）していない小さなお子様、身体的及び精神的障害者等による操作はお辞め下さい。

着火前にはヒーター周り及び燃焼皿がクリーンで正しく取り付けられている事を確認して下さい。またドアがロックされているか確認して下さい。

ストーブ稼働中はドアは必ず締めて下さい。また絶対に開けないで下さい。燃焼中は排気管やストーブは高温となりますので触れないで下さい。また長時間温風に体をさらして健康上の問題が発生する場合はそれ以上燃焼させないで下さい。同様に直接温風が植物にあたると有害な影響が出ますのでご注意ください。木質ペレット以外の固形及び液体燃料以外は絶対に使用しないで下さい。可燃物はストーブから十分離して下さい。衣類などをストーブ近くで乾燥させないで離して下さい。操作中にコンセントを抜かないで下さい。

5．1　コントロールパネルの説明



コントロールパネルはマイクロプロセッサーによって制御されています。操作ボタンと表示について下記の通り説明いたします。

＜タイマー運転ボタン＞
ボタンを押すとタイマー運転予約または予約解除の切り替えが出来ます。（5.4 項参照）

＜温風ファン調整ボタン＞
温風のレベルを６段階で調整出来ます。ストーブ内部が一定温度以上になると送風を始めます。またストーブ内部が一定温度以下になると送風を停止します。

＜火力調整ボタン＞
ボタンを押すとスタートします。（着火モード）燃焼レベルを調整出来ます。（７項参照）また消火の際もこのボタンで行います。

＜スクロールボタン＞（メニュー操作の場合のみ使用）
数値を上げるときは＋ボタン、下げるときは－ボタンを押します。

＜メニューボタン＞

メインメニューにアクセスする場合、ボタンを押して下さい。ディスプレイへ下記メニューが表示されます。スクロールボタンでメニューをスクロール出来ます。各メニューへアクセスする為には、スクロール後 2～3 秒待つと設定項目が表示されます。

■DATE／TIME

曜日、時間を設定出来ます。（5.3 項参照）

■CHRONO

タイマー運転のプログラムを設定します。（5.4 項参照）

■LEVEL

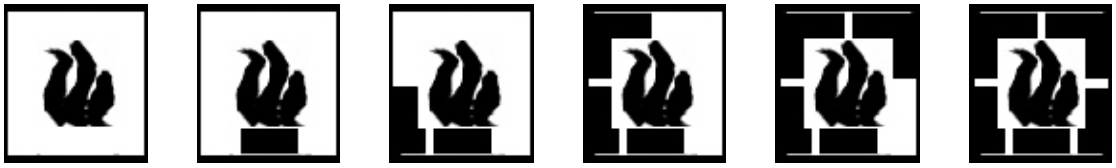
排気ファンの回転数を調整出来ます。（5.5 項参照）

■THERMOCOMFORT

サーモコンフォートリモコン（オプション）と通信する場合に設定します。（5.6 項参照）

＜ディスプレイの表示＞

火力レベルを表示しています。

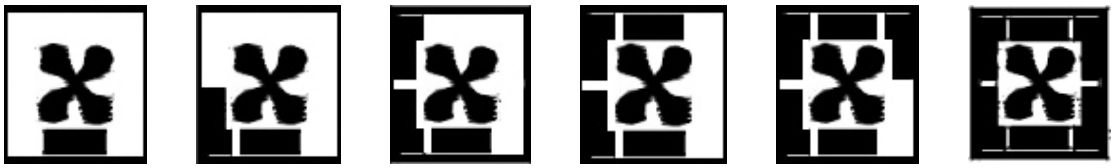


OFF　　レベル 1　　レベル 2　　レベル 3　　レベル 4　　レベル 5

火力最小　　火力最大

注意：火力レベル 5 での使用はストーブの過熱防止の為 1 時間以内にして下さい。

温風ファンのレベルを表示しています。



レベル 1　　レベル 2　　レベル 3　　レベル 4　　レベル 5　　レベル 6

■上手なストーブの使い方（レベル調整）

温風の暖かさは温風レベルと火力レベルのバランスで決まります。お客様の体感に合わせてレベルを調整して下さい。火力レベルだけ上げても温風レベルを上げないとストーブ内部だけが熱くなり部屋は暖まりません。逆にストーブ内の電子機器へ悪い影響があります。最適な目安は以下の通りです

火力レベル 1 の時：温風レベル 2～3

火力レベル 2 の時：温風レベル 3～4

火力レベル 3 の時：温風レベル 4～6

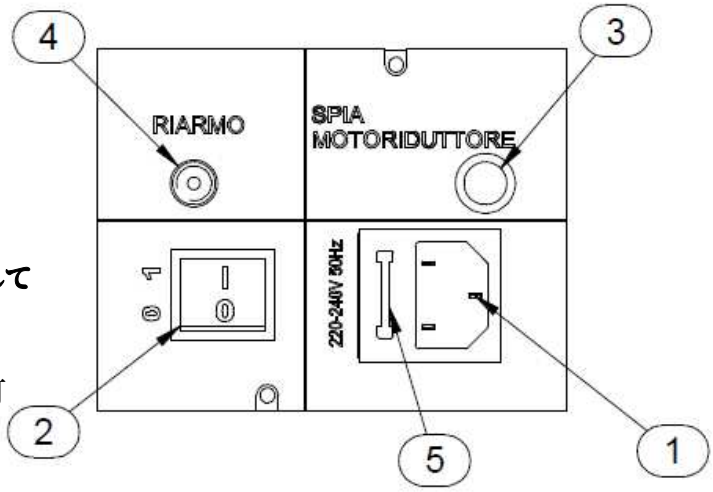
火力レベル 4、5 の時：温風レベル 6

温風レベルはモニターが「OFF」の状態でも調整しておいてストーブが着火してセンサーが暖かい温風を送風できると感知すると自動的に調整したレベルで運転を開始します。

一番上の■は曜日を表します。■は月曜日、■ ■火曜日、■ ■ ■水曜日となります。
７つ点灯していると日曜日というように設定出来ます。
上から２番目の文字はストーブの運転モードを表示します。「START」「WORK」「OFF」となります。
数字は設定された現在時刻を表示しています。

ディスプレイに時計マークが表示されている時はタイマー運転の待機中です。タイマー運転をしない場合はタイマーボタンを押して表示を消して下さい。（5.4 項参照）

５．２　背面パネルの説明



①電源　220－240V／50Hz
②メインスイッチ　0/1
長期不在やシーズンオフはこのメインスッチを
ＯＦＦ（0）にして下さい。
絶対にメインスイッチで　　消火しないで下さい。
全てのモーター、ファンが止まっているのを確認して
ＯＦＦにして下さい。
③オーガモータ稼働確認ランプ
オーガモータに電気が供給される緑のランプが点灯します。オーガモータは断続的に回転しますのでランプも点灯、消灯を繰り返します。
④オーバーヒートリセットボタン
ストーブがオーバーヒートすると燃料の供給を止めます。オーバーヒートの原因を解消してストーブが十分冷めたらこのキャップを緩めてリセットボタンを押してから再スタートして下さい。
⑤ヒューズ　3.15A／250V

５．３　「DATE／TIME」曜日・時間の設定

ストーブのメインスイッチを入れて下さい。（1 にする）曜日、現在時間は「DATE／TIME」のメニューから設定出来ます。設定方法は下記の通りです。

1：メニューボタンを１回押すとディスプレイに左図の様に表示されます。

2：2～3 秒後に左図の様に表示が変わります。
3：スクロールボタンで今日の曜日を選定します。月曜日なら 1、火曜日なら 2、・・・・日曜日なら 7 に設定して下さい。設定したら「火力調整ボタン」を押して決定します。

4：曜日の設定が終わると現在時間の設定に入ります。左図の様に先ず時間単位をスクロールボタンで設定します。「火力調整ボタン」を押して決定して下さい。次に分単位を設定します。同じようにスクロールボタンで設定して「火力調整ボタン」で決定して下さい。
上記が終わるとディスプレイは自動的に初期画面に戻ります。

もし間違った設定をした場合はメニューボタンを繰り返し押して初期画面に戻り、上記の手順で設定をやり直して下さい。

５．４　「CHRONO」タイマー運転のプログラム

ストーブのメインスイッチを入れて下さい。タイマー設定は１日３回、１週間分の設定が可能です。
下記の手順に従って設定して下さい。

１：メニューボタンを２回押して「CHRONO」と表示させて下さい。

数秒後に左図の様に表示が変わります。

２：スクロールボタンで曜日を選択します。上図は１（月曜日）です。曜日を選択したら「火力調整ボタン」で決定します。ディスプレイは下図の様に表示されます。

３：曜日の設定が終わるとスタート時間「ON－1」を決めます。朝５時 30 分にスタートさせたい場合、スクロールボタンで「05」にします。「火力調整ボタン」で決定します。
※この時自動的に消火時間の「OFF－1」は「05」が表示されます。これはスタート時間より早い時間の消火時間の設定間違いを防ぐためです。
次に分単位の 30 分を設定します。上記と同じようにスクロールボタンで「30」に設定して下さい。良ければ「火力調整ボタン」を押して決定して下さい。

４：次に消火時間「OFF－1」の設定になります。６時 45 分に消火したい場合、上記同様にスクロールボタンで時間「06」に設定して「火力調整ボタン」で決定します。次に分単位「45」に設定して「火力調整ボタン」で決定します。

以上で最初のタイマー設定「ON－1」「OFF－1」は終了です。ディスプレイは下記の表示になります。

その日の２つ目のタイマー設定の画面です。違う曜日の設定に移行した場合は 5－A を参照して下さい。
同じ日の２つ目のタイマー設定をする場合は 5－B を参照して下さい。

5－A：メニューボタンを押して上記曜日の選択をして下さい。時間の設定は上記手順と同じです。

5－B：この日２回目のスタート時間「ON－2」を設定します。操作は「ON－1」と同じですが「ON－2」の時間は「OFF－1」の消火時間より遅い時間に設定して下さい。（時間がダブルと作動しません。）
時間を設定したら「火力調整ボタン」で必ず決定して下さい。

「ON－2」「OFF－2」の設定が終わると下記表示となります。

その日の３つ目のタイマー設定の画面です。違う曜日の設定に移行した場合は 6－A を参照して下さい。
同じ日の３つ目のタイマー設定をする場合は 6－B を参照して下さい。

6－A：メニューボタンを押して上記曜日の選択をして下さい。時間の設定は上記手順と同じです。

6－B：この日３回目のスタート時間「ON－3」を設定します。操作は「ON－1」と同じですが「ON－3」の時間は「OFF－2」の消火時間より遅い時間に設定して下さい。（時間がダブルと作動しません。）
時間を設定したら「火力調整ボタン」で必ず決定して下さい。
以上でタイマー運転「ON－3」「OFF－3」の設定は終了です。

※同じタイマー設定を別の曜日にも設定したい場合、「温風レベル調整ボタン」を押すと別の曜日にコピー出来ます。参考例を下記に説明します。

「温風レベル調整ボタン」を押すと上記の表示になります。月曜日「1」のタイマー設定全てを火曜日「2」にコピーした場合はもう一度「温風レベル調整ボタン」を押します。下記表示に変わります。

同じ要領で他の曜日もコピー出来ます。

7：タイマープログラム設定を終了する場合は「メニュー」ボタンを数回押して初期画面に戻って下さい。

注意：タイマーを作動させたくなければ時間を「00：00」にセットして下さい。いかなる時もタイマープログラムは無視されます。またタイマー設定で ON と OFF と同じ時間および OFF が ON よりも早い時間とセットしても作動しません。

注意：タイマー運転をする場合は必ず事前に燃焼皿及び着火ヒーター周りをクリーニングして下さい。汚れていると着火失敗やヒーターの寿命低下につながります。また「ON」「OFF」の間隔は 2 時間以上開けて設定して下さい。エネルギーの効率化ならびにストーブの能力を有効に使えます。

＜プログラム運転待機状態＞

タイマー運転をするためにはタイマーを待機状態にする必要があります。時計マークのボタンを押すと下記表示になります。ディスプレイに時計マークが表示されているとプログラム時間に運転を始めます。

現在時刻右の表示が時計マークです。

注意：タイマー運転中（時計マークがディスプレイに表示中）はクロノサーモスタットと併用出来ません。（8.2 項参照）

＜タイマー運転の解除＞

タイマー運転をしない場合は「時計ボタン」をもう一度押して下さい。ディスプレイから時計マークが消えます。タイマー運転は作動しませんがプログラム自体は記憶されています。

＜タイマー運転プログラムのリセット＞

タイマー運転のプログラムをリセットする場合は「時計ボタン」を 5 秒以上を押して下さい。ディスプレイに「CLEAR　TIMERS」と表示されリセットされます。「CLEAR　TIMERS」が表示されるまで「時計ボタン」を押し続けて下さい。表示されたらリセットされています。

タイマー運転のスター時の火力レベルは前回タイマー運転にて消火した時と同じレベルです。手動にて消火した場合は反映されません。手動で消火した場合は、次のタイマー運転のスタート時の火力レベルは 1 でスタートします。

５．５　排気ファンレベルの設定

ストーブのメインスイッチを「1」に入れて下さい。本ストーブにはメーカーが推奨する設定が入力されています。メーカーの推奨する排気ファンの「LEVEL」は「LEVEL　1」です。しかし使用するペレットの品質、及び燃焼皿の灰の残り具合により「LEVEL」を変更する事が出来ます。

LEVEL　2：「LEVEL　2」は排気ファンのスピードが高くなります。火力レベルに応じて比例して増大します。燃焼の炎が暗く、揺らぐような場合は「LEVEL　2」に設定して下さい。

注意：この修正は標準外のペレットの使用、ならびに排気の排出を保証するものではありません。

低圧縮のペレットを使用する場合は下記設定下さい。

LEVEL　0：「LEVEL　0」は低圧縮のペレットを使用する場合、またはドラフト圧が 20Pa 以上の時に設定して下さい。

この設定は運転が「WORK」の状態のみ有効です。「START」モード、消火モード時は無効となります。
排気ファンレベルの変更は下記手順で行います。

1：「メニューボタン」を 3 回押して下さい。ディスプレイに下記が表示されます。

数秒後に下記表示に変わります。

左図は現在の排気ファンレベル「LEVEL　1」を表示しています。

変更した場合はスクロールボタン「＋」を押しながら「－」ボタンを押すと表示が変わります。設定したいレベルが表示されたら「メニューボタン」を数回押して初期画面に戻って下さい。

▽ 排気ファンレベルの変更はストーブが ON／OFF に関わらず変更可能です。燃焼中の場合は明らかに燃焼状態が変わる事を確認出来ますので必ず問題ないか確認して下さい。また消火後の燃焼皿の灰の様子の確認及びクリーニングは必ず実施下さい。

５．６　サーモコンフォートリモコンとの通信（オプション）

このストーブはサーモコンフォートリモコン（室温設定自動運転）の受信装置が内蔵されています。オプションのサーモコンフォートリモコンを購入すると室温を設定温度になるよう自動運転出来ます。但し電波の届く範囲は設置環境、壁の厚さなどにより 6~7mの範囲になる場合がございますので予めご了解の上ご購入下さい。

注意：サーモコンフォートリモコンでは着火・消火の操作は出来ません。（６項参照）

注意：最適な電波の送信のためにサーモコンフォートリモコンは壁などに掛けてご使用下さい。
サーモコンフォートリモコンを操作するにあたり下記準備下さい。

サーモコンフォート機能は下記手順で実施出来ます。

1：「メニューボタン」を 5 回押すと下記表示になります。

数秒後下記表示変わります。

左図はサーモコンフォート機能が「OFF」の状態を表しています。

2：サーモコンフォート機能を「ON」にするには「スクロールボタン」の「＋」または「－」を押すと下記表示に変わり、機能が働きます。

注意：上記はストーブ本体のサーモコンフォート機能を ON にしただけです。最終的にはサーモコンフォートリモコンの電源を入れて通信を確認する必要があります。

3：設定が終わったら「メニューボタン」を押して初期画面に戻って下さい。
サーモコンフォート機能が「ON」になっている場合下記の様に表示されます。但し、運転が「START」または「WORK」の時に表示されます。

左図の現在時刻左横の マークがサーモコンフォート機能を「ON」を表しています。

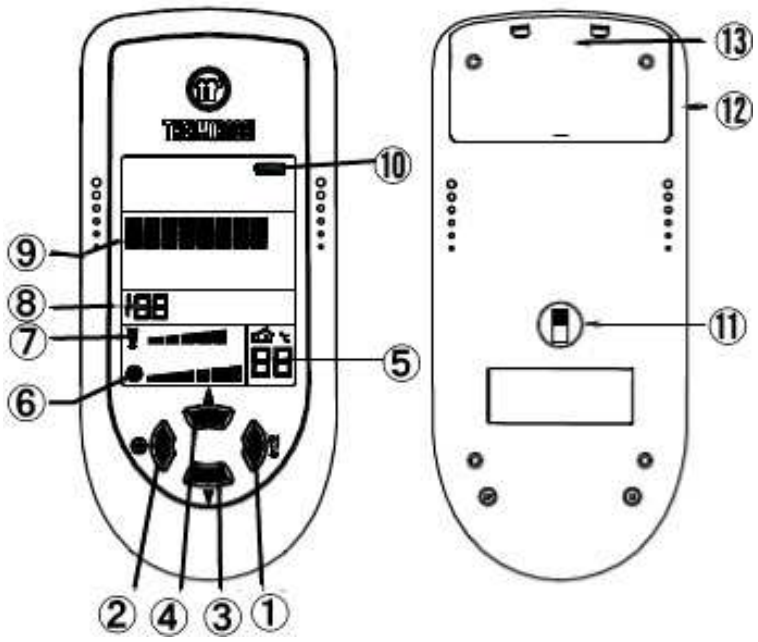
ストーブが「OFF」の状態ではサーモコンフォート機能は働きません。「START」になると自動的に機能が「ON」になります。機能を「OFF」にしたい場合は上記 1～2 の手順で「OFF」を表示させて下さい。

6．サーモコンフォートリモコンについて（オプション）

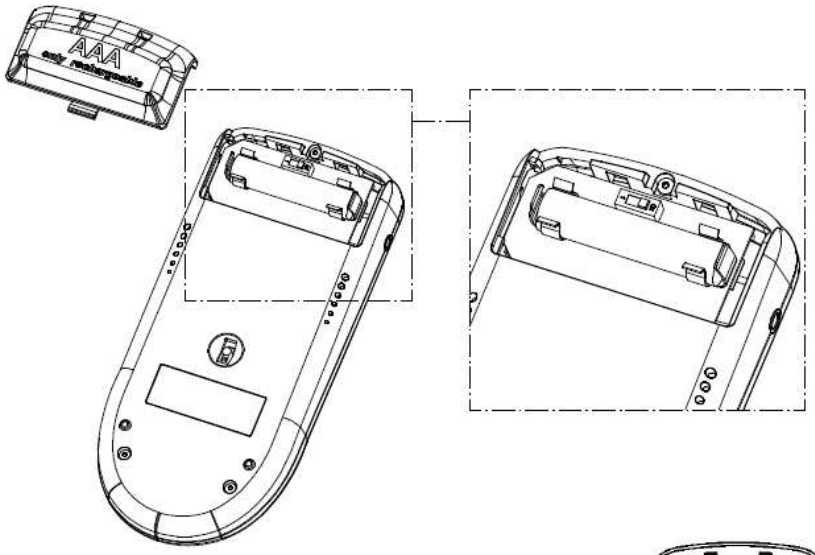
サーモコンフォートリモコンはストーブの機能、ペレットの消費を最適化出来ます。「AUTO」運転を選択するとストーブは設定した室温になるよう自動的に火力レベル、温風レベルを調整します。「MANUAL」運転を選択すると火力レベル、温風レベルは手動で設定出来ます。

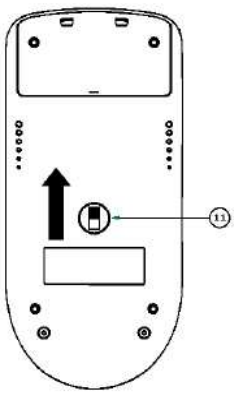
6．1　サーモコンフォートリモコンの各名称

① 火力レベル調整ボタン
②温風レベル調整ボタン
③④機能調整ボタン
⑤リモコンが感知している室温
⑥温風ファンレベル表示
⑦火力レベル表示
⑧設定温度（希望される室温）
　ボタン③または④を押してご希望の
　室温を選択出来ます。
⑨運転プログラムを表示しています。
⑩バッテリーの容量（残量）の表示
⑪リモコンのメインスイッチ
⑫充電器差し込み口
⑬バッテリー蓋



サーモコンフォートリモコンを機能させるためには、まずリモコンのバッテリースイッチを「ON」にして下さい。
1：下図の様にリモコン背面のバッテリー蓋⑬を開けてスイッチを「ON」にして下さい。





2：次にリモコン背面のメインスイッチ⑪を「ON」にして下さい。
リモコンのディスプレイが表示されます。

3：バッテリーを付属の充電器で充電して下さい。
充電池容量が全くない場合は 24 時間は充電器に接続したままに
しておいて下さい。十分充電されたら充電をやめて下さい。
わずかな継ぎ足し充電や常時充電はバッテリーの寿命を短くします
のである程度充電容量が少なくなったら充電して下さい。
またバッテリーのスイッチを ON にしないと充電されません
長時間使用しない場合はバッテリー保護のためバッテリースイッチを切って下さい。

6．2　サーモコンフォートリモコンの使い方

サーもコンフォートリモコンは 4 つのプログラムを選択出来ます。
モニターの⑨へ表示は「MANUAL」「AUTO5」「AUTO3」「ECONOMY」のいずれかが表示されます。

＜プログラムを選択または変更する場合＞
リモコンのメインスイッチ⑪を ON にして下さい。プログラム表示⑨の表示が点滅するまでボタン③を長押しして下さい。プログラムが点滅したらボタン③を一旦離して下さい。点滅している間にボタン③または④を押してご希望の運転プログ表示にして下さい。これで選択、変更が完了です。

「MAMUAL」のプログラムについて（本体の操作パネルにて Thermoomfort On にして下さい。）
このプログラムの場合はリモコンでの室温調整はできません。（設定温度は無視されます。）火力レベル、温風レベルをリモコンで操作出来るだけのプログラムです。**（注意：着火・消火はできません。）**
ボタン①を押すとモニター⑦の火力マークが点滅します。ボタン③を押すと火力レベルは小さくなり火力レベルを示す■■も消えていきます。逆にボタン④を押すと火力レベルは大きくなりレベル表示の■■も増えて行きます。火力レベルを変えたい場合はボタン③④で調整して下さい。
同様に温風レベルを調整したい場合まずボタン②を押して下さい。ファンのマーク⑥が点滅します。ボタン③を押すと温風は弱まりレベル表示の■■も消えていきます。逆にボタン④を押すと温風は強まりレベル表示■■も増えて行きます。
注意：電波障害により操作が出来ない場合は標準の赤外線リモコンをお使い下さい。

上手なストーブの使い方（レベル調整）
サーモコンフォートリモコンの場合も同じですが火力レベルだけ上げても温風レベルを上げないとストーブ内部だけが熱くなり部屋は暖まりません。逆にストーブ内の電子機器へ悪い影響があります。最適な目安は以下の通りです
火力レベル１の時：温風レベル 2～3
火力レベル 2 **の時：温風レベル** 3～4
火力レベル 3 **の時：温風レベル** 4～6
火力レベル 4、5 **の時：温風レベル** 6

「AUTO5」プログラム（本体の操作パネルにて Thermoomfort On **にして下さい。）**
このプログラムはご希望の室温になるよう自動で火力・温風を調整します。ご希望の温度はモニター⑧へ表示されます。ボタン③④でいつでも温度変更できます。「AUTO5」**のプログラムは設定温度になるよう火力および温風を最大レベルで運転させます。その為、短時間で設定温度へ近づける事ができますがペレットの消費も多く、送風音も大きくなります。設定温度に達すると燃焼レベルは安定します。**
注意：電波障害により操作がうまくいかない場合もございます。このプログラムの場合赤外線リモコンは使用できません。また設定温度が高すぎるとストーブはいつまでも最大火力レベルで燃焼を続けますのでオーバーヒートや電子機器の損傷につながり寿命の低下を招きます。適切な設定温度を設定して下さい。

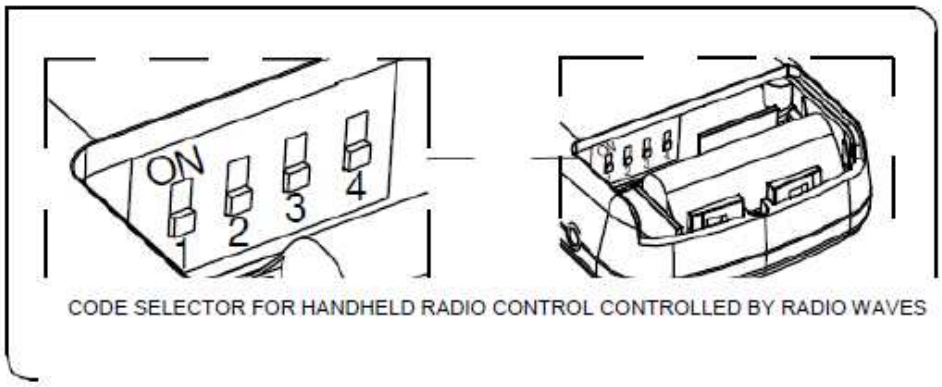
「AUTO3」プログラム（本体の操作パネルにて Thermoomfort On **にして下さい。）**
このプログラムもご希望の室温になるよう自動で火力・温風を調整します。ご希望の温度はモニター⑧へ表示されます。ボタン③④でいつでも温度変更できます。「AUTO3」**のプログラムは設定温度になるよう火力レベル** 3 **および温風レベル** 4 **で運転します。設定温度なるまで**「AUTO5」**より時間は掛りますがペレットの消費量は少なくストーブへの負担も軽減されます。。設定温度に達すると燃焼レベルは安定します。**
注意：電波障害により操作がうまくいかない場合もございます。このプログラムの場合赤外線リモコンは使用できません。また設定温度が高すぎるとストーブはいつまでも最大火力レベルで燃焼を続けますのでオーバーヒートや電子機器の損傷につながり寿命の低下を招きます。適切な設定温度を設定して下さい。

「ECOMOMY」プログラム（本体の操作パネルにて Thermoomfort On **にして下さい。）**
このプログラムもご希望の室温になるよう自動で火力・温風を調整します。ご希望の温度はモニター⑧へ表示されます。ボタン③④でいつでも温度変更できます。「AUTO3」**のプログラムは設定温度になるよう火力レベルおよび温風レベルは最小レベルで運転します。もっともペレットの消費が少なくストーブへの負荷も軽いので長時間ご使用される場合はお勧めのプログラムです。このプログラムの場合赤外線リモコンは使用できません。**

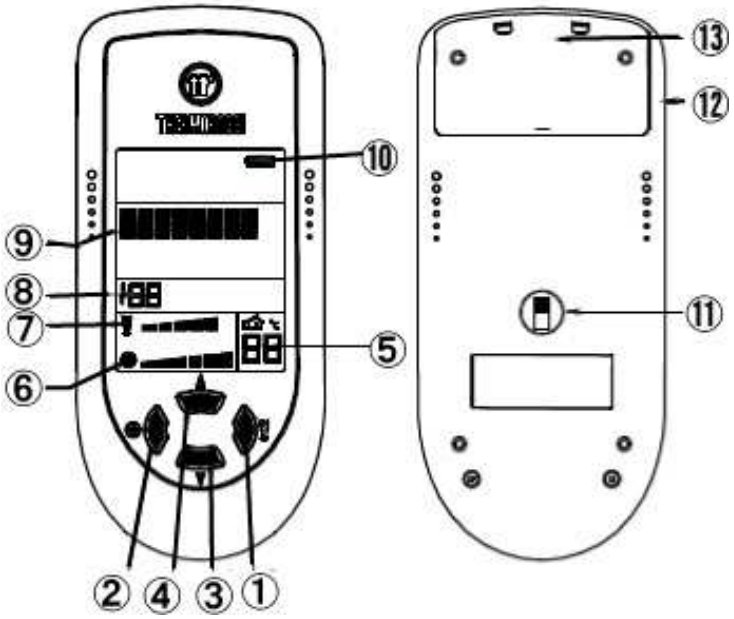
サーモコンフォートリモコンでの着火・消火はできません。本体の操作パネルで行って下さい。
また、最適な通信の為にはリモコンは垂直に立ててご使用する事をお勧めいたします。

６．３　送信コードについて

2 **台以上のストーブを隣接して設置しサーモコンフォートリモコンを使用する場合、混信しないように周波数をそれぞれ別にする必要があります。これはストーブのメインスイッチを入れた状態で行って下さい。これは** 2 **つのストーブの誤作動を防止する為に必要です。使用周波数を変更する場合、それぞれのコードを確認した上で同じコードにして下さい。工場出荷時は全て標準設定されています。**
まずサーモコンフォートリモコンの機能をＯＦＦにします。本体の操作パネルでメニューボタン⑥を繰り返し押してモニター⑦へ「THERMOCOMFORT」**と表示させて下さい。表示後すぐに**「Thermocomfort On」**または**「Thermocomforot Off」**と表示されます。**ON **の場合はボタン③を押して**「Thermocomfort Off」**にして下さい。**Off **にしたらメニューボタン⑥を押すと標準画面に戻ります。**
次にサーモコンフォートリモコンのメインスイッチ⑪を切りバッテリー蓋⑬を開けて下さい。（下図参照）
バッテリの横に 4 **つのチャンネルボタンがあります。このチャンネルボタンを他のリモコンと同じチャンネルにならないように設定して下さい。（例えば** 1 **を** ON**、もう一台は** 2 **を** ON**、もう一台は** 4 **を** ON**）**



CODE SELECTOR FOR HANDHELD RADIO CONTROL CONTROLLED BY RADIO WAVES



チャンネルの設定が終わったらサーモコンフォートリモコンのバッテリースイッチ、メインスイッチ⑪を入れて下さい。
今度は先ほどとは逆に本体の操作パネルにてストーブ本体を「Thermocomfort On」の状態にして下さい。
サーモコンフォートリモコンが操作できれば周波数は変わっているはずです。もし誤作動するようでしたらもう一度上記手順でチャンネルを変更して下さい。
ストーブ本体側は変更の必要はありません。但し 1 台づつ変更を実施して下さい。他のストーブの設定中はストーブ本体およびサーモコンフォートリモコンのメインスイッチは OFF にして下さい。

6．4．サーモコンフォートリモコンのメンテナンス

このリモコンは厳しい規格に基づき設計、製造されておりますので取り扱いには十分注意を払って下さい。下記の注意事項に従って取扱い頂けると長期間不具合なくお使い頂けます。

1. 常に湿気のない所に保管して下さい。雨水、湿気、水気は電子回路を腐食させます。万が一水で濡れた場合、直ぐにバッテリーを外し、外装カバーを開き水気を拭き取り室温にて十分乾燥させて下さい。
2. 埃っぽい場所や、汚れた環境で使用したり、保管しないで下さい。埃や汚れはリモコンの不具合の原因となります。
3. 高温の環境下へ置かないで下さい。熱による電子機器およびバッテリーの寿命低下につながります。温度によっては樹脂（ケースなど）の変形、溶解が発生します。
4. 冷たい環境下へ置かないで下さい。温められると結露などにより電子機器に不具合が発生します。
5. 落としたり、叩いたり衝撃を与えないで下さい。内部回路が損傷します。
6. リモコンを腐食性の化学物質や液体、洗剤等でクリーニングしないで下さい。（乾いた布で拭く）

以上の注意はバッテリー、充電器などの全ての付属品に共通です。必要な部品（バッテリー、キーパッド、ケース、ケース内部品）は購入日より６ヶ月間保証します。上記要因が認められる場合は保証できません。これらに適合しない場合は部品および装置を 2 ヶ月以内にテルモロッシへ報告、返品して下さい。この情報は技術情報としてテルモロッシが管理いたします。

リモコンを床等へ落下させると液晶ガラスに線や染みなどが現れます。この様な損傷に関してはいかなる場合も保証出来ませんので、取扱いには十分ご注意下さい。

7． ストーブの操作方法

7．1 運転モードの説明

「START」モード

「START」モードは着火ボタンを押して約 20 分間メーカーの設定に従って燃焼する着火モードです。この間は火力レベルのボタンを押しても 20 分間は実際の燃焼に反映されません。
この間に着火しない場合の原因は、燃焼皿が汚れている、着火ヒータ周りが汚れている、燃焼皿が極端に冷たい、供給電力の低下、ペレットが湿っているか仕様外のペレットである等が考えられます。（3.2 項参照）

「WORK」モード

通常の運転モードです。ストーブはユーザーの設定した火力レベル、温風レベルにて運転します。このモードでは着火ヒータの発熱はありません。

「OFF」モード

消火モードとなります。約 25 分間続きます。燃焼皿の残ったペレットを焼き尽くして、ストーブが冷めるまで消火モードは続きます。約 25 分後にはストーブは完全に「OFF」となります。

7．2 ストーブの着火

▽ 着火する前に、燃焼皿など正しく取り付けられているか確認して下さい。またガラスに貼られたシールやステッカーなどは綺麗に剥がして下さい。電源コードが正しく接続されてドアがしっかりロックされている事を確認して下さい。

ストーブの着火は下記手順に従って下さい。

1：ストーブ背面のメインスイッチを入れて「1」下さい。
2：ストーブは必ず排気管と接続して下さい。スチール製の排気管と接続部のはガスケットを入れることをお勧めします。
3：ペレットをタンクに入れて下さい。
4：「火力調整ボタン」を押して下さい。ディスプレイへ「START」と表示され「START モード」着火モードがスタートします。

「START モード」は 20 分間続きます。20 分後に「WORK モード」に変わります。「WARK モード」での火力レベル、温風レベルを設定しておいて下さい。「START モード」の 20 分間は火力レベルはメーカーの設定プログラム通りで一定です。温風ファンは排気温度が一定温度以上になると自動的に運転を始めますので「温風ボタン」で調整して下さい。

▽ **警告：ディスプレイに「START」が表示されている間は全てのコマンドが無視されます。ディスプレイへ「WORK」が表示されると有効になります。**
もし、着火に失敗したら燃焼皿に溜まったペレットは全て取り除き、もう一度燃焼皿、ヒーター周りをクリーニングして再スタートして下さい。

7．3 火力レベルと温風レベルの調整

火力調整ボタンはペレットの投入量をコントロールしています。付属の赤外線リモコンでも操作出来、レベルはディスプレイへ表示されます。

温風レベル「温風ファン調整ボタン」、または付属の赤外線リモコンにて調整出来ます。設定レベルはディスプレイへ表示されます。ファンの回転に応じてストーブが僅かに振動する場合がありますが正常です。

上手なストーブの使い方（レベル調整）
サーモコンフォートリモコンの場合も同じですが火力レベルだけ上げても温風レベルを上げないとストーブ内部だけが熱くなり部屋は暖まりません。逆にストーブ内の電子機器へ悪い影響があります。最適な目安は以下の通りです
火力レベル１の時：温風レベル 2～3
火力レベル 2 **の時：温風レベル** 3～4
火力レベル 3 **の時：温風レベル** 4～6
火力レベル 4、5 **の時：温風レベル** 6

７．４　赤外線リモコンについて

このストーブは付属の赤外線リモコンでも操作出来ます。
白いボタンは操作パネルのボタン①、青いボタンはボタン②と同じ操作ができます。但しプログラムなどの設定には使用できません。
着火・消火および火力・温風の調整のみ可能です。ボタンを押すと緑の LED **が点灯します。点灯しない場合が電池切れですので電池を交換して下さい。（電池はパナソニック** LRV08：12V **相当）**

８．室温サーモスタットとタイマー機能付きサーモスタット（オプション）

こちらはサーモコンフォートリモコンで代用出来るので、ここでの説明は省略いたします。

９．クリーニングとメンテナンス

９．１　はじめに

警告：全ての作業は必ずコンセントを抜いた状態で行って下さい。エコサーモのストーブは特別なメンテナンスは必要ありません。簡単で基本的な調整と一般的なクリーニングが必要ですが、これにより正常な運転が得られます。排気管に異常がないか必ず確認して下さい。次に示すメンテナンス事項は必ず実施して下さい。**このメンテナンスが行われていない場合は保証期間内であっても保証いたしません。**
これらはストーブの故障や事故を防ぐために重要です。濡れた手で行わないで下さい。ストーブが十分冷めたのを確認して行って下さい。また専用の掃除機を使うと便利です。

ユーザーは本取扱説明書に記載されているメンテナンスを必ず実施しなければならない。自分自身で出来ない場合は正規施工代理店へご依頼下さい。また年に１回は排気筒をクリーニングすることをお勧めいたします。

９．２　クリーニングとメンテナンス

低品質のペレット使用による様々な不具合を経験しています。イタリア UNI **規格またはヨーロッパ** EN **規格に適合するペレットを使用して下さい。保証の条件となります。従わない場合は不適切な使用として電子機器などが非常に高い高温を受けます。これらは保証対象外です。**

特別な指示がない限り下記に示すメンテナンスは指定された通り定期的に実施して下さい。

毎日のメンテナンス
炎制御板、燃焼皿（空気穴を確保して下さい）の灰を捨てて着火ヒーター周りをきれいにして下さい。
（図１参照）
燃焼皿は一旦取り外して台座周りも綺麗にして下さい。クリーニングが終わったら元の正しい位置に戻して下さい。着火前は常に上記クリーニングを行って下さい。掃除機を使うことをお勧めします。
着火失敗を防ぐ為には非常に重要です。

毎週のメンテナンス

燃焼皿の穴、着火ヒーターの装着口に灰が詰まっていない事を確認して下さい。詰まっているならブラシや掃除機で取り除いて下さい。（図 1 参照）

もしクリンカー（二酸化ケイ素）があるならば取り除いて下さい。これは低品質のペレットの証拠です。

C1、C2 を空にして下さい。（図 2、3 参照）

毎月のメンテナンス

C3 を開けて中の灰を掃除機で取り除いて下さい。（図 4 参照）C3 のガスケットをチェックして必要なら交換して下さい。

燃焼室の鋳物のバックプレートを取り外して C4 を掃除機で綺麗にして下さい。（図 5A、5B、5C 参照）

排気管の T 字部を確認して灰を除去して下さい。

ペレットタンクを空にして底に溜まった粉を掃除機で除去して下さい。

排気管に灰の堆積が無いか確認してクリーニングして下さい。

シーズン終了後

ストーブ全体をクリーニングして下さい。燃焼室背面はブラシや掃除機を使って灰を取り除いて下さい。

燃焼室内をブラシおよび掃除機を使って綺麗に灰や煤を落として下さい。薄く防錆油などを施すと錆びにくくなります。ガラスのクリーニングは湿った布や新聞紙などで掃除して下さい。ただし、ガラスが冷えた状態で行って下さい。サイドパネルは柔らかい布と水で拭いて下さい。

注意：燃焼皿には灰が多少残りますが正常ですので日々お手入れして下さい。

注意：ドアの開閉時にはドアの下に溜まった灰が多少床に落ちますのでご注意下さい。

注意：日々のお手入れ後はドアが確実に閉まっている事を確認して下さい。

注意：排気管及びストーブ周りは本仕様に従い可燃物を使用しないで下さい。

注意：部分的なメンテナンスは正常な運転に影響を与えることがありますのでメンテナンスは確実に行って下さい。メンテナンスを怠った場合はいかなる不具合も保証出来ません。

注意：着火や燃焼が連続して不具合を起こす場合は再スタート前に排気管、着火ヒーター、ストーブ煙道を全てチェックして下さい。

注意：１か月以上間を開けて使用する場合は電源、着火ヒーター、排気管（鳥の巣）などに障害がないか確認して下さい。

これらのクリーニングを怠った場合は保証期間内でも保証いたしません。

FIGURA - 1

FIGURA - 2

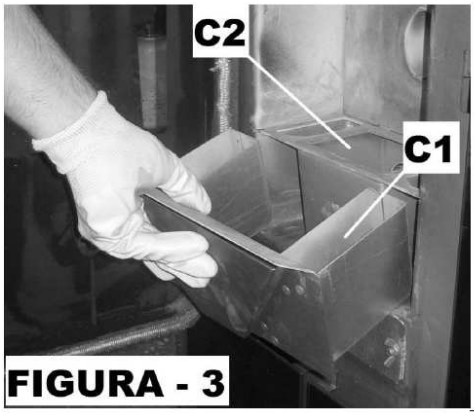


FIGURA - 3

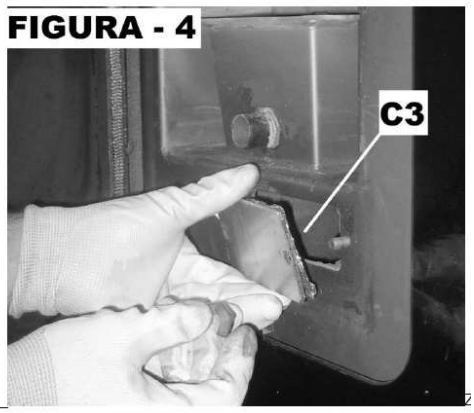


FIGURA - 4

FIGURA - 5A

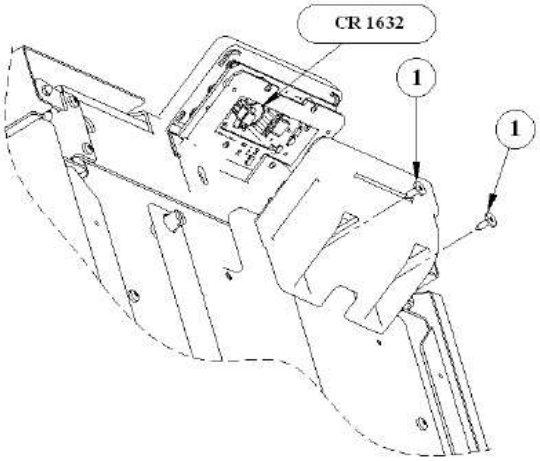
FIGURA - 5B

FIGURA - 5C

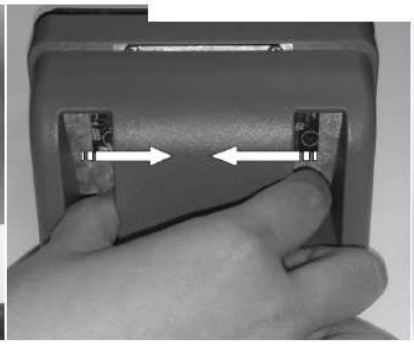
９．３　赤外線リモコンの電池交換

このストーブは付属の赤外線リモコンでも操作出来ます。
白いボタンは操作パネルのボタン①、青いボタンはボタン②と同じ操作ができます。但しプログラムなどの設定には使用できません。着火・消火および火力・温風の調整のみ可能です。
ボタンを押すと緑の LED が点灯します。点灯しない場合が電池切れですので電池を交換して下さい。（
電池はパナソニック LRV08：12V 相当）

９．４　操作パネルの電池交換



コントロールパネルの中にバックアップ用の電池（CR1632）があります。時間やプログラムの記録が残らない様になったら電池を交換して下さい。
ペレットタンクを開けてネジ A 外して下さい。
操作パネルのネジ①を外します。
カバーは下の写真の様に 2 本の指で内側つまんで引き抜くと外せます。
使い終わった電池は適切に処理して下さい。



１０．　排気管と部屋の換気について

１０．１　はじめに

排気管は設置方法の不備により頻繁に問題が発生します。排気における全ての部品を簡単に設置できるよう下記に示します。尚、これは「UNI7129／92」「UNI10683」「EN14785」の基準を基に示すもので、実際の設置については設置場所の法令に基づいて行って下さい。（これは火災に耐えられる規格ですが火災が発生したら直ちに消防へご連絡下さい。）また、設置については次のデータに対応するよう施工願います。

１０．２　室内の換気について

注意：ストーブを設置する部屋に換気扇がある場合は問題が発生する場合があります。
注意：ストーブ上部の送風口および空気の取り入れ口は塞がないで下さい。
ストーブを設置する部屋は燃焼用空気（一次空気）の取り入れ、換気、二次空気の取り入れのため新鮮な空気が必要です。従って 1 つまたは複数の外気取り入れ口（通風口）を必ず設けて下さい。
外気は綺麗な空気が入る様に考慮して下さい。（ストーブの排気等を入れない）外気との通風が直接出来ない場合、また隣接する部屋から換気する場合などは下記の注意ならびに制限を考慮して設置して下さい。

外気を取り入れる壁の通風口は下記の条件を満たすこと
・100 ㎠の開口面積を持ち、その開口部は 1KW 当たり 6 ㎠以上のこと
・遮断蓋などがなく常に通風状態を保つ構造であること（開閉可能にしないこと）
・上記開口面積を確保して金網または類似品で保護すること。
・フロアーレベル（高さ）に設置し、障害物を置かないで下さい。置く場合は 50%以上開口部を広げて下さい。

１０．２．１　離れた場所（部屋）から取り入れる場合

・取り入れる部屋は上記の基準の通風口を設置して下さい。
・通風口を設置した部屋とストーブを設置した部屋をパイプなどで通風して下さい。
・取り入れる部屋は寝室や共有スペースなどは避けて下さい。（空き部屋を使用して下さい。）
・火災の恐れ、貯蔵庫、ガレージ、可燃物が蓄えられた部屋等から取り入れないで下さい。
・負圧になる可能性がある部屋からは取り入れないで下さい。
・二部屋をつなぐ通風口も上記基準で設けてネットカバーをつけて下さい。隣接する部屋とドアで繋がっていてドアとドア枠との隙間が上記開口面積を満たせば通風口代わりになります。

１０．２．２　単管または複数の管で換気する場合

・燃焼空気をパイプで引き込む場合、ストーブが引き込む力に対して管に影響される抵抗が大きくなります。（管の曲がり、合流部、内面の抵抗など）
・シングル管の場合は垂直、水平どちらも可能ですが出来るだけ長さを短くして下さい。急な曲がりは避けて下さい。曲がりは 90 度未満にしないで下さい。燃焼空気は管の抵抗に左右されます。また同じフロアに換気扇などがあれば燃焼空気は最大でも本来供給される 10%ほどに減ります。
・分岐管を使用する場合は垂直方向に設けて下さい。室内への取り入れ口は低い位置にしてストーブの燃焼が逃げないようにして下さい。またメッシュフィルターなど施して下さい。

▽　以上の設置基準は「UNI7129／92」「UNI10683」「EN14785」を参考に設定したもので、推奨するものではありません。設置する有資格者は正規の規格を理解した上で設置して下さい。

１０．３　排気管について

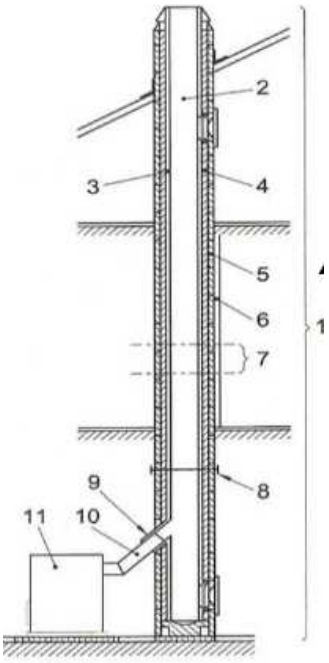
排気管、分岐部品、煙突や排気出口（燃焼による生成物の排出用のシステムと定義されるものは）は暖房装置の部品として燃料のタイプにより大臣が定める法令 DM37/08（イタリアの法律の場合 46/90）に準じていなければなりません。暖炉、ストーブおよびバーベキューは、排気器具のタイプに A と B が存在し操作されます(分類のために、UNI 160642 および UNI 7129 参照)
器具と煙道出口の間の接続は単に 1 台の暖房機からの排気のみに限ります。
ストーブには低圧の排気ファンがついています。排気温度も低いので結露する場合がありますので結露しな排気管寸法にして下さい。

１０．３．１

下記に説明するタイプの排気管の設置は可能です。
・適応可能な標準に従って保証している一つのメーカー、またはCE 適応品で構成されている排気管。
・メーカーは違うが互換性のある部品で構成された排気管および断熱材やケーシング。
・既存または新規に設置されている不燃材で構成された煙突で他に煙突として使用しないもの。

１０．３．２　排気口とその構成部品

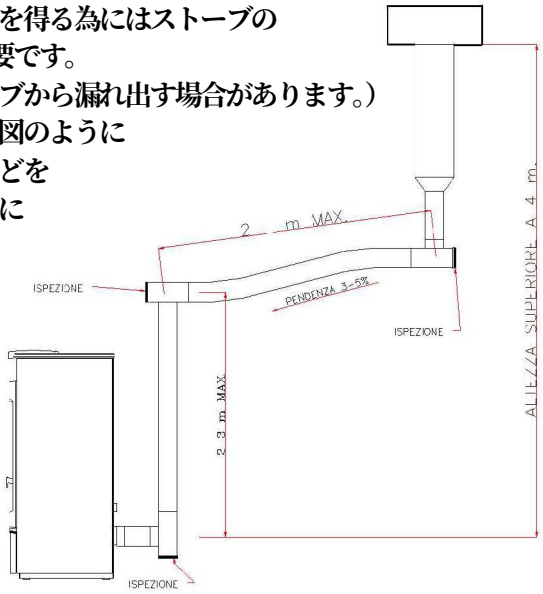
すべての煙突は、右図に示される、標準 UNI EN 1443 によって設置されるよう最低限の部品は使用しなければなりません。但し設置する自治体の法令が優先されます。



1. 煙突全体
2. 煙道
3. 排気管
4. 断熱材
5. 外管（3～5 は二重管でも可）
6. 外管
7. 貫通部
8. 組合せ管全体
9. コネクタ
10. 排気管
11. ストーブ本体

１０．３．３

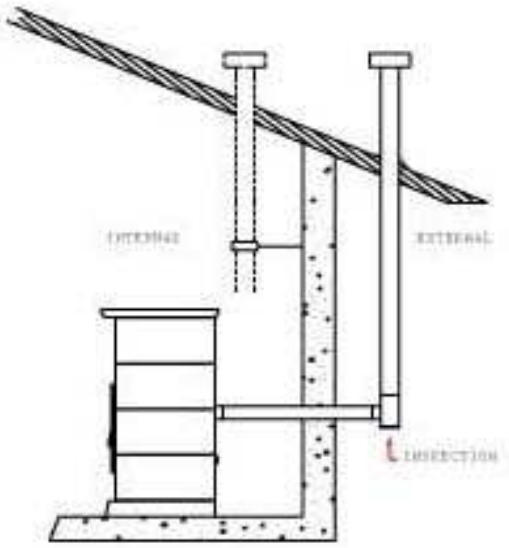
排気管について右図数値を推奨します。これは排気ファンの故障や停電時などでもドラフト効果で排気する為に推奨するものです。この効果を得る為にはストーブの排気口ならびに直後のT管位置より 1.5m以上の高さが必要です。
（この高さがないと排気ファンが動かない時、煙がストーブから漏れ出す場合があります。）
下の図は屋根を貫通される場合の事例です。この場合下左図のように排気管を適切な高さで壁に固定し、点検口の付いたT管などを必ず付けて下さい。またトップ部は風の影響を受けない様に風除けキャップを装着して下さい。
レンガ造りの煙突を流量する場合下右図のように内径 150 ㎜以下のステンレスパイプまたはホーロー処理されたスチールパイプを通すことをお勧めします。
壁への固定、点検口、風除けキャップの設置は同様に必要です。既存の煙突にパイプを通したら貫通部は必ずシールして下さい。**煙突トップに網を掛けることはストーブの誤作動の原因になります。**

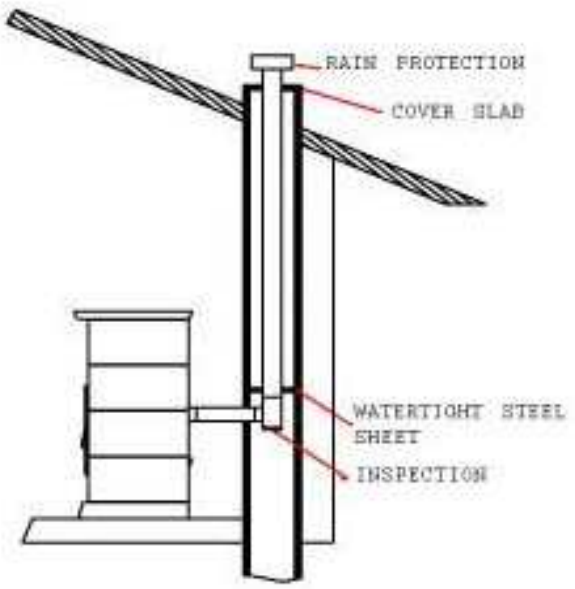


水平部を持つ排気管を設置する場合、掃除のために点検口を設けて下さい。（右図参照）灰の除去や、軌道を妨げる不燃物などの有無を確認するために必要となります。
排気管は僅かなドラフト効果があり、燃焼室を負圧にします。これは排気経路に漏れがない事が条件です。
排気管の素材は適切な材質を使用して下さい。例えばホーロー処理されたスチール管や耐熱シール（３５０℃）など。また管の外側は必ず断熱材にてカバーして下さい。

⚠ 全てのセクションで点検口を設けることで点検、清掃が可能になります。

▽ オプションの側面排気にする場合、排気圧センサーのチューブを損傷させないよう注意のこと





１１．アラーム

このストーブは 7 つの基本的なアラームを知らせるようプログラムされています。

注意：アラームはストーブの欠陥を知らせるものではありません。テルモロッシの安全性、信頼性を確保するためにユーザーへ確認、修正を知らせるものです。

アラームの内容は次の通りです。

このアラーム表示は「WORK」モードの時に排気温度が設定温度以下になった時に表示されます。ペレットタンクにペレットが無くなり消火した場合などに表示されます。リセットするにはストーブ背面のメインスイッチを一旦切って入れなおして下さい。ペレットを補給して燃焼皿をクリーニングした後、再スタートして下さい。

このアラームは「START」モードの時に排気温度が設定温度以上に達しなかった時に表示されます。着火に失敗したり、遅れた場合に表示されます。リセットするにはストーブ背面のメインスイッチを一旦切って入れなおして下さい。燃焼皿をクリーニングした後、再スタートして下さい。燃焼皿に残ったペレットはタンクへ戻さないで下さい。

このアラームは排気管がブロックされたり排気が悪くなったりした時に表示されます。燃焼室のドアが閉まっていない場合などにも表示されます。アラームをリセットするにはストーブ背面のメインスイッチを一旦切って入れなおして下さい。最初にドアが確実に閉まっていたか確認して下さい。その後、排気経路に詰りがないか確認して下さい。原因が特定されるまで再スタートしないで下さい。問題が解決したら燃焼皿をクリーニングして再スタートして下さい。

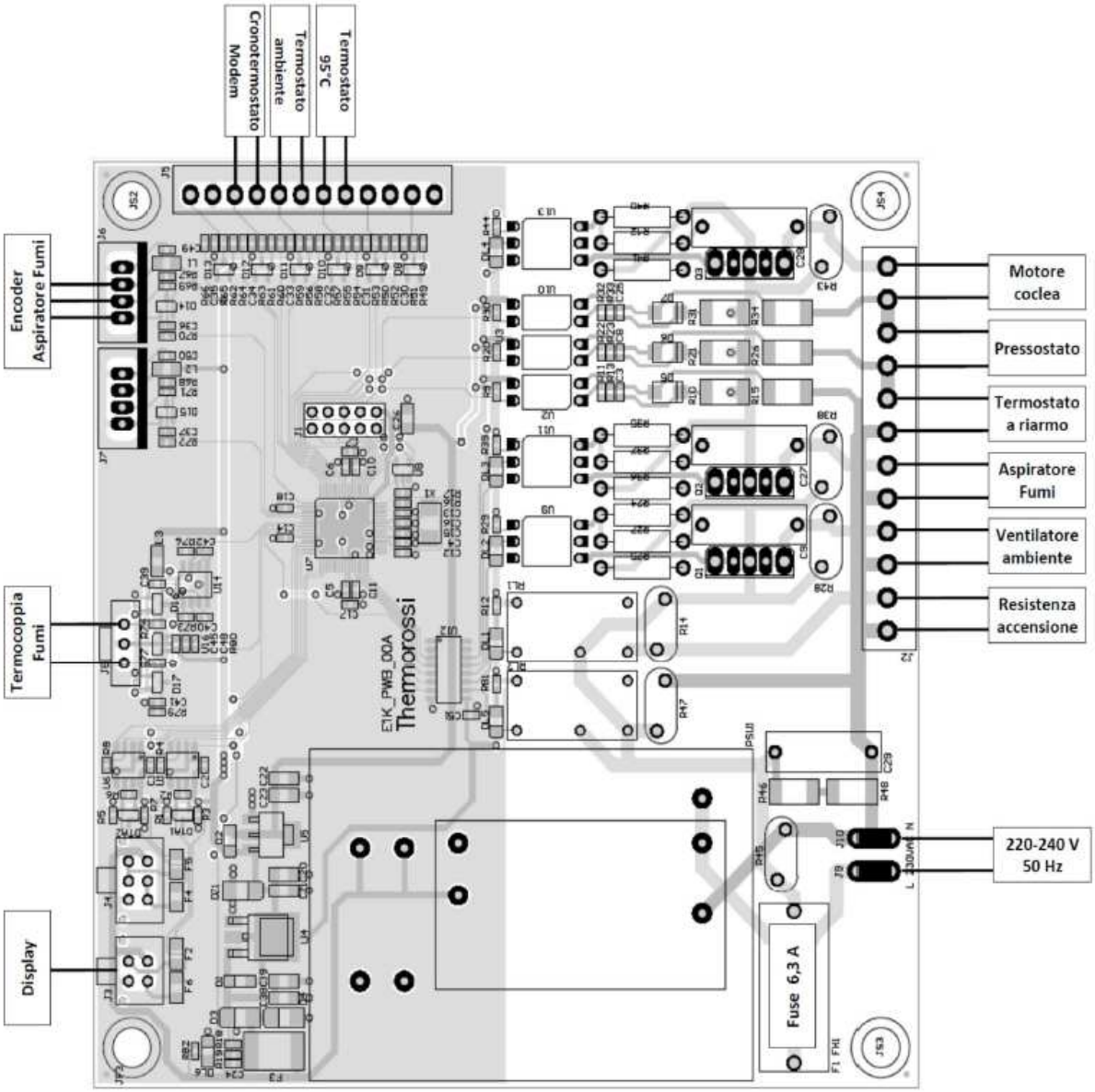
このアラームはストーブ内部が 125°C以上に過熱された時に表示されます。過熱の原因を確認して問題を解決して下さい。ストーブが冷めたらリセット出来ます。リセットはメインスイッチが入った状態でストーブの背面パネルのリセットボタンのキャップを外してボタンを押すとリセット出来ます。再スタートする前に燃焼皿をクリーニングして下さい。

このアラームは排気温度を計測する熱電対が損傷したか機能しなくなった場合に表示されます。正規代理店へ連絡して下さい。

このアラームは排気ファンの回転センサーがスピードが遅いと判断した時に表示されます。排気管及び排気トップが塞がれていないか確認して下さい。問題が解決しない場合は正規代理店へ連絡して下さい。

この表示は排気ファンの回転を検知出来ない時に表示されます。排気ファンまたは回転センサーの異常です。正規代理店へ連絡して下さい。

１２.　マーザーボード



Legenda	Key
Cronotermostato Modem	Chronothermostat - modem
Termostato Ambiente	Room Temperature Thermostat
Termostato 95°C	Thermostat 95°C
Encoder Aspiratore fumi	Smoke suction unit encoder
Termocoppia fumi	Smoke thermocouple
Display	Display
Motore coclea	Screw feeder motor
Pressostato	Pressure switch
Termostato a riarmo	Reset thermostat
Aspiratore fumi	Smoke suction unit
Ventilatore ambiente	Room fan
Resistenza accensione	Lighting heater

１３　技術情報

１３．１　基本的構成部品と機能

＜排気圧センサー＞
これは必要な時にいつでもフィーダーモーターをスットプさせるセンサーです。主な原因は排気経路、排気管が塞がれた時に反応します。排気管出口までメッシュのフィルターなどは取り付けないで下さい。メッシュが詰まり排気圧力が発生しフィーダーモーターとストップさせます。

＜フィーダーモーター＞
このモーターはマイクロプロッセサにより制御され断続的に回転します。モーターは次の場合に運転を停止します。

- モーターが過熱となった時
- 排気経路が塞がれ排気圧センサーが働いた時
- ペレットがなくなった時
- メインスイッチを切った時
- マニュアル運転時、ストーブ内部が１２５℃になった時

＜排気ファン＞
着火ボタンを押すと運転を始めます。最初の 2 分間は排気経路のこもった灰を排出させるために最大パワーで運転します。その後自動制御運転となります。消火モードになっても排気の安全のため一定時間は運転します。停止するまでメインスイッチは切らないで下さい。

＜排気温度センサー＞
ストーブの排気温度を計測しています。「START」モードから「WORK」モードへの移行の際、着火の確認等に使用されます。

＜ペレットタンクの温度センサー＞
ペレットタンクおよびタンク付近が８５℃になると送風ファンが強制的に最大レベルで運転します。

＜125℃温度センサー＞
ストーブ内部が 125℃に達するとフィーダーモーターを停止します。過熱の原因を確認して対処して下さい。確認出来たらストーブが冷めるのを待って背面パネルの黒いキャップを外してリセットボタンを押すとリセット出来ます。（この時 117℃以下になっていなければなりません。）

１３．２　正しい設置のためのガイドライン

- この取扱説明書を必ず読んで下さい。
- 消火の際は操作パネルで消火して下さい。背面のメインスイッチを切ったり電源プラグを抜いて消火しないで下さい。排気が部屋へ漏れたりし危険です。
- 排気管出口は壁を水平に抜いただけの位置にしないで下さい。自然なドラフトを得られるよう立ち上げて下さい。燃焼の排気は一般的な方法で保証しなければなりません。強風の影響を受け排気管に流れ込みストーブが停止します。
- ストーブ本体表面のエナメルのケイ酸塩の乾燥と焼きのために最初の 10 時間は最大火力で試運転して下さい。ストーブ表面から煙や臭いが出るので窓を開けて換気しながら行って下さい。（燃焼室は塗装が剥がれたようになる場合がありますが不良ではありません。）
- 排気経路にメッシュの網や排気を阻害するようなものを装着しないで下さい。ペレットを燃焼させるのに必要な吸排気に影響を及ぼします。
- 着火ヒーターの周りは常に取扱説明書に従ってチェックして掃除して下さい。
- 定期的に排気管を掃除して下さい。
- 高品質のペレットを使用して下さい。品質が悪いと 50%以上の燃焼効率が低下します。
- ペレットは乾燥した場所で保管して下さい。

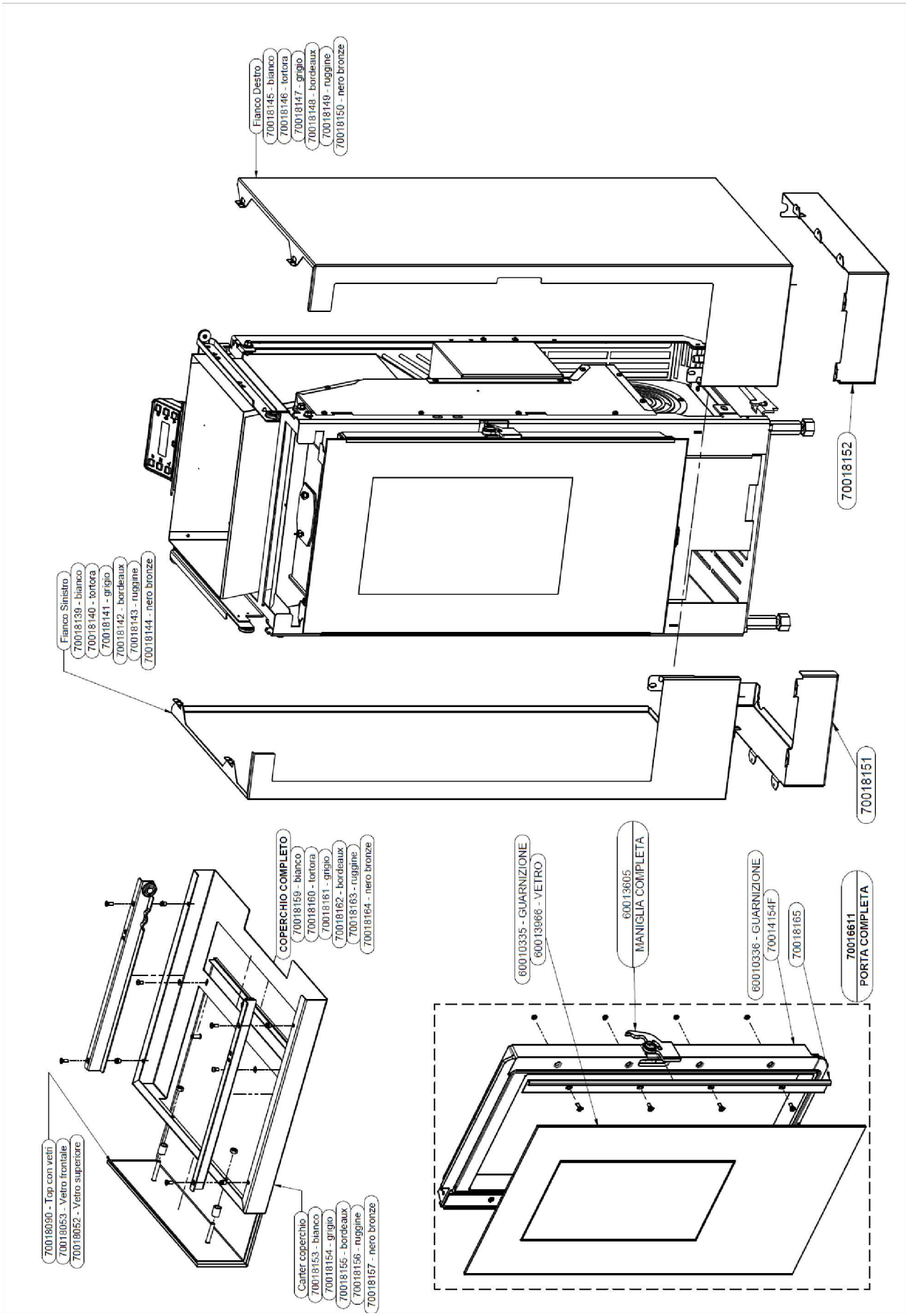
・稼働中は燃焼室のドアは確実に閉めて下さい。
・ストーブ表面の高温部分には素手で触らないで下さい。ミトン等を使用下さい。
・ペレットを直接燃焼皿へ投入しないで下さい。
・ペレットならびに可燃物はストーブの近くに置かないで下さい。
・スペアパーツは正規品を使用して下さい。

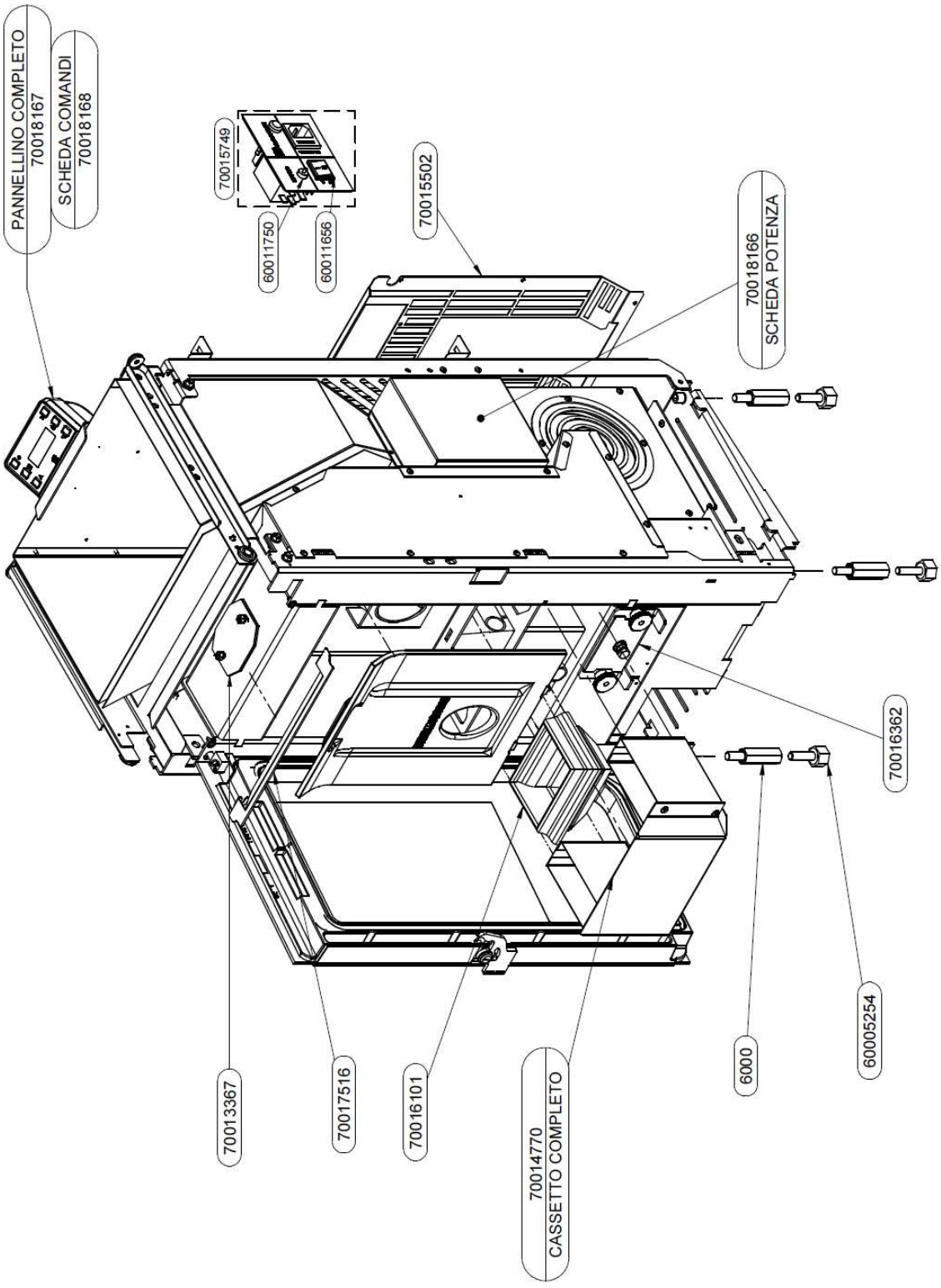
１２．３　トラブルシューティング

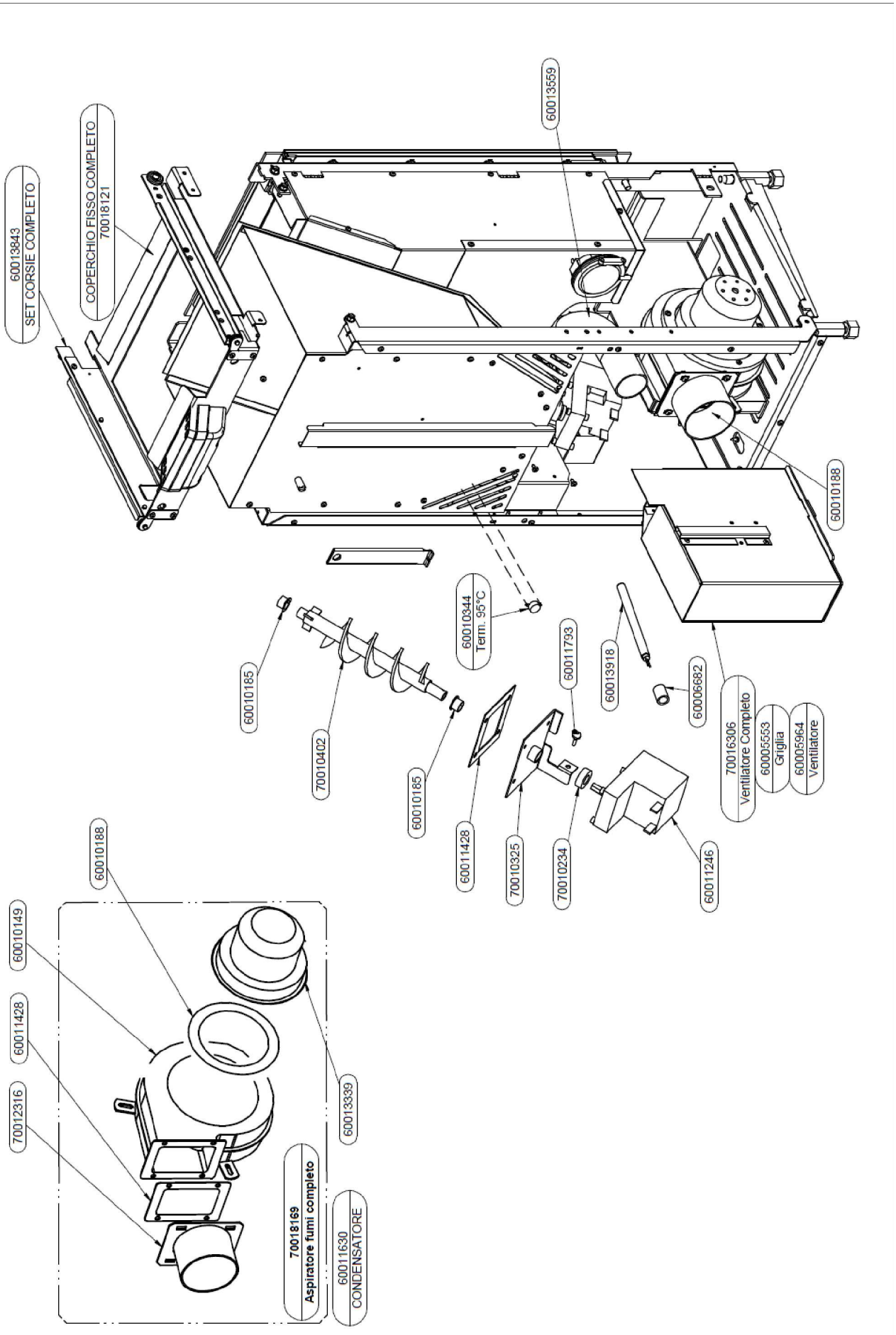
不具合	原因	対処
ペレットが落ちてこない	ペレットタンクが空です。 NO-PELLET　CLEAN-BURNER アラーム表示	ペレットを補給して下さい。
	異物がタンク底に噛み込んでいます。 NO-PELLET　CLEAN-BURNER アラーム表示	異物を取り除いて下さい。
	排気経路などに障害物があり、排気が阻害されています。“SMOKE NO OUT – CHECK OUTLET”アラーム表示	汚れたり、詰まったりしていないか燃焼皿、排気管を確認して下さい。
	排気管トップにメッシュなどを装着しる場合、排気が阻害されています。 “SMOKE NO OUT– CHECK OUTLET”アラーム表示	阻害するものを取り除いて適切な部品へ交換して下さい。
	突然の突風により安全モードとなりました。“SMOKE NO OUT – CHECK OUTLET アラーム表示	一旦スイッチを切り、燃焼皿を綺麗にしてもう一度着火して下さい。
	ペレット供給モーターが動かない。 NO-PELLET　CLEAN-BURNER アラーム表示	モーター交換またはクリーニング
	サーモスタットが作動し燃料供給モーターが停止した。（オーバーヒート） “ALARM T.MAX”アラーム表示	過熱の原因を特定して解決して下さい。ストーブが冷めたらリセットボタンを押して再スタート。
	ドアが開いている “SMOKE NO OUT – CHECK OUTLET アラーム表示	ドアを閉めて下さい。
ペレットが燃焼皿へ溜まる	排気経路などに障害物があり、排気が阻害されている。	汚れたり、詰まったりしていないか排気管を確認して下さい。また阻害するものを取り除いて適切な部品へ交換
	着火ヒーターが汚れている。	頻繁に清掃して下さい。
	ガスケットを装着したドアが開いている。	ドアを閉めて下さい。また必要ならガスケットを交換して下さい。
	ペレットの灰が標準より多い。またはペレットの品質に問題がある。	燃焼皿を綺麗にして取扱説明書に従って排気ファンのレベルを 2 にして下さい。またはペレットを変えて下さい。
ストーブから煙が出る	初めて燃焼する時におきます。本体のシリコンコティーングが焼かれています。	完全に焼き終わるまで数日は火力レベルを上げて試運転して下さい。（部屋は換気すること）
	排気管に漏れがある。	ガスケットなど適合しているか確認。
	25 分後に煙が出始めた場合：着火ヒーターが汚れていて着火が遅れた。	燃焼皿、着火ヒーターを綺麗にして下さい。
	25 分後に煙が出始めた場合：オーガ内のペレットが無い	燃焼皿を綺麗にしてタンクにペレットを補充して下さい。
	排気のリリーフバルブが開いた。	不完全燃焼の煙に引火しました。取扱説明書メンテンテナンスを全て実施して下さい。

START モード終了後数分で停止した	オーガ内にペレットが無く、着火が遅れた。“FAILED START – CLEAN BURNER”アラーム表示	燃焼皿を綺麗にしてタンクにペレットを補充して下さい。
	燃焼皿、着火ヒーターが汚れている。“FAILED START – CLEAN BURNER”アラーム表示	頻繁に清掃して下さい。
ストーブがスタートしない	着火ヒーターが加熱していない。“FAILED START – CLEAN BURNER”アラーム表示	燃焼皿を綺麗にして着火ヒーターを交換して下さい。
	ペレットタンク、オーガ内にペレットが無い。“FAILED START – CLEAN BURNER” アラーム表示	燃焼皿を綺麗にしてタンクにペレットを補充して下さい。
	排気圧に異常な圧力が見られる。“FAILED START – CLEAN BURNER” アラーム表示	排気管のドラフトをチェックして下さい。
	着火ヒーター周りが塞がれている。	着火ヒーター周り、燃焼皿を綺麗にして下さい。
ガラスが煤で黒くなる	ペレットが燃焼皿に溜まりすぎている。	燃焼皿を綺麗にして取扱説明書に従って排気ファンのレベルを 2 にして下さい。またはペレットを変えて下さい。
	着火、消火のサイクルが多い。	燃焼時間が長くなるよう設定してサイクルを減らして下さい。
	排気のドラフトが弱い。	排気経路をチェックして修正して下さい。
	ペレットの品質が悪い。	燃焼皿を綺麗にして取扱説明書に従って排気ファンのレベルを 2 にして下さい。またはペレットを変えて下さい。
ストーブが OFF で燃焼皿に燃え残ったペレットがある	ペレットが無くなりました。“NO PELLET – CLEAN BURNER” アラーム表示。	燃焼皿を綺麗にして、ペレットを補充して下さい。
	排気圧に異常が見られる。“NO PELLET – CLEAN BURNER” アラーム表示。	排気管のドラフトをチェックして下さい。
ストーブの温度が上がらない	設定温度が低すぎる。ON／OFF を繰り返しが多い。	より高いレベルで燃焼させるために設定温度上げて下さい。
	部屋が広すぎる。壁が冷たい。	燃焼時間、燃焼レベルを上げて下さい。
	ペレットの品質が悪い。	取扱説明書に記載の通り認証を受けたペレットへ交換して下さい。
	階段や高い吹き抜け等により熱が逃げている。	火力を上げるかまたは適切にスペースを仕切って下さい。
時間がメモリーされない	操作パネルの電池が消耗している。	電池を交換して下さい。
タイマープログラムが作動しない	タイマーを待機状態にしなかった。	取扱説明書の通り、時計マークのボタンを押して待機状態にして下さい。
	操作パネルの電池が消耗している。	電池を交換して下さい。
	タイマープログラムにエラーがある。	設定を再確認して下さい。
数時間運転後にドアガラスに汚れが付着する。	新品を燃やすと防錆の為のシリコーンコーティングが蒸発してガラスに付着する。	シンナーなどの溶剤で拭き取って下さい。

１４．　スペアパーツ


Fianco Destro
70018145 - bianco
70018146 - tortora
70018147 - grigio
70018148 - bordeaux
70018149 - ruggine
70018150 - nero bronze
70018152
Fianco Sinistro
70018139 - bianco
70018140 - tortora
70018141 - grigio
70018142 - bordeaux
70018143 - ruggine
70018144 - nero bronze
70018151
COPERCHIO COMPLETO
70018159 - bianco
70018160 - tortora
70018161 - grigio
70018162 - bordeaux
70018163 - ruggine
70018164 - nero bronze
70018090 - Top con vetri
70018053 - Vetro frontale
70018052 - Vetro superiore
Carter coperchio
70018153 - bianco
70018154 - grigio
70018155 - bordeaux
70018156 - ruggine
70018157 - nero bronze
60010335 - GUARNIZIONE
60013966 - VETRO
60013605
MANIGLIA COMPLETA
60010336 - GUARNIZIONE
70014154F
70018165
70016611
PORTA COMPLETA


PANNELLINO COMPLETO
70018167
SCHEDA COMANDI
70018168
70015749
60011750
60011656
70015502
70018166
SCHEDA POTENZA
70016362
70013367
70017516
70016101
70014770
CASSETTO COMPLETO
6000
60005254


60013843
SET CORSIE COMPLETO
COPERCHIO FISSO COMPLETO
70018121
60013559
60010188
60010344
Term. 95°C
60010185
70010402
60010185
60011793
60013918
60006682
70016306
Ventilatore Completo
60005553
Griglia
60005964
Ventilatore
60011428
70010325
70010234
60011246
60010188
60010149
60011428
70012316
60013339
70018169
Aspiratore fumi completo
60011630
CONDENSATORE

LEGENDA	KEY
Top con vetri	Top with glass
Vetro frontale	Front glass
Vetro superiore	Top glass
Carter coperchio	Cover guard
Bianco	White
Grigio	Grey
Bordeaux	Bordeaux
Ruggine	Rust
Nero Bronze	Black Bronze
COPERCHIO COMPLETO	COMPLETE COVER
Bianco	White
Tortora	Dove-grey
Grigio	Grey
Bordeaux	Bordeaux
Ruggine	Rust
Nero bronze	Black Bronze
GUARNIZIONE	GASKET
VETRO	GLASS
MANIGLIA COMPLETA	COMPLETE HANDLE
PORTA COMPLETA	COMPLETE DOOR
Fianco Sinistro	Left panel
Bianco	White
Tortora	Dove-grey
Grigio	Grey
Bordeaux	Bordeaux
Ruggine	Rust
Nero Bronze	Black Bronze
Fianco Destro	Right panel
Bianco	White
Tortora	Dove-grey
Grigio	Grey
Bordeaux	Bordeaux
Ruggine	Rust
Nero Bronze	Black Bronze
CASSETTO COMPLETO	COMPLETE DRAWER
PANNELLINO COMPLETO	COMPLETE PANEL
SCHEDA COMANDI	CONTROL BOARD
SCHEDA POTENZA	POWER BOARD
Aspiratore fumi completo	Complete smoke suction unit
CONDENSATORE	CONDENSER
Term. 95°C	THERM. 95°C
Ventolatore Completo	Complete fan
Griglia	Grate
Ventilatore	Fan
SET CORSIE COMPLETO	COMPLETE SET OF SLIDES
COPERCHIO FISSO COMPLETO	COMPLETE FIXED COVER

【 保 証 書 】

この製品の保証期間はお買い上げ日から１年間です。保証書のコピーを輸入元へお送り下さい。

製造会社、輸入元および販売店は、エコサーモの全体の状態、製品、使用部品にいかなる欠陥もないことを保証します。
保証書を使う際は以下のことを行ってください。

- 領収書、銀行振り込み記録などにより、お買い上げ年月日を明示してください。
- 保証期間内に故障が生じたり、破損や欠陥が見つかった場合は、お客様のお名前、住所、電話番号、お買い上げ年月日、エコサーモの型番、トラブルの状況およびストーブの設置・運転状況を販売店にお知らせください。

  販売店がある場合は欠陥または故障の状況を調べて、報告書を作成します。輸入元・販売店は故障の内容が保証書によってカバーできるかどうかを確認した上で、無料修理・交換を行います。

保証条件について

1）輸入元は、エコサーモの構成部すべてにおいて（消耗品を除く）、お買い上げ年月日から１年間保証します。
2）消耗品に関しては、不良品の場合を除いて、保証の対象にはなりません。よって、以下の部品は保証外になります：ガスケット、燃焼制御板、接続部品、グリル、ガラスドア、耐熱セラミックプレート。
3）保証期間内に破損もしくは欠陥が見つかった場合、販売代理店に点検を依頼してください。設置業者により不備が確認された場合、必要な部品交換などはすべて無償で行われます。
4）この保証書は、本製品をご使用のお客様にのみ有効です。権利の譲渡はできません。また、エコサーモの過熱しすぎによる損傷は、保証の対象外になります。ストーブの誤った設置や使い方および、温度によるストーブ表面への影響についても、保証の対象外になります。
5）保証金額は、本製品の購入代金を上限とします。製造会社・輸入元は、修理または欠陥部品の交換でお客様に補償します。
6）お客様のメンテナンス不足に起因する不具合、また設置工事ならびに設置工事不備による損害は輸入元の保証の対象となりません。

注意:　ご購入者は、保証書がいつから効力を発揮しているかを証明するために、お買い上げ年月日が明記された領収書あるいは送金レシートを必ず保持・保管してください。

お買い上げ年月日：　　年　　月　　日
コピーして輸入元へ送ってください。**コピーが輸入元へ無い場合保証出来ません。（メールでも可）**
輸入元：有限会社河西（ユーロストーブ）　〒243-0425　神奈川県海老名市中野 1-11-39
TEL：046-238-9991　http://www.pellet-stove.jp　E-mail:info@pellet-stove.jp

【お客様登録情報】

ストーブモデル	MONAMOUR（モナムール）
お名前	
ご住所	
お電話番号	
メールアドレス	
施工代理店	
お客様のサイン	

お客様の情報は保証の確認のみに使用し、第三者へ開示することはございません。